

令和5年産米

JAグリーン近江 栽培ガイドライン

# 生産資材申込書

信頼

よりどり



申込書の提出期日  
令和5年1月16日(月)まで

真心

みどり



グリーン近江農業協同組合

監修:東近江農業農村振興事務所農産普及課

# 【はじめに】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から早3年となりましたが、未だ収束の先行きが見えない中、感染拡大による経済への影響が続いているところでございます。

農業におきましても、人口の減少や少子高齢化に加え、コロナ禍による米の需要減少や古米在庫過多による年産切替の遅れや産地間競争が激化していることから、米の販売は低迷している状況です。また、肥料をめぐる情勢は、中国の国内需要を優先することによる輸出規制、ロシアのウクライナ侵攻等により、限られたソースに世界中から需要が集中し、需給がひっ迫しています。さらに急激な円安基調および海上運賃の上昇により、国内における肥料原料調達コストは、依然として高止まりしており、加えて原油価格の上昇による肥料製造諸経費への影響が心配されております。

このように農業を取り巻く環境は大変厳しい状況ですが、JAグリーン近江におきましては、「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」を基本目標として、生産力向上と持続可能な農業の実現に向けて、引き続き「品質の安定と反収向上・生産コスト低減の提案に取り組むと共に、販売単価向上に向けた安定的な契約販売に向けた取組」を中心に、この度「令和5年産米栽培ガイドライン」を作成し、農家組合員の皆様にご提案させて頂く運びとなりましたので、産米作付けの参考にして頂き、資材等のお申し込みを頂きますようお願い申し上げます。

近年は、度重なる異常気象（豪雨や長雨・台風の襲来・夏の猛暑・日照不足）が発生しており、水稻を始めとした農作物の品質や収量に大変影響を受けております。そのような気象変動の中でも水稻の時期、ほ場の状態（地力）にあわせた「土づくり」・「中間追肥（穂肥や止め葉期追肥）」など水稻の生育に応じた施肥、基本技術の励行が大変重要となります。

販売戦略として、「みずかがみ」を中心としたブランド米強化や事前契約を継続して行い、実需者との結びつきをより深め安定的な流通確保に努めてまいります。

今後もJAグリーン近江では、「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として「持続可能な農業」を支え、「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に向けた取組を農家組合員の皆様と共に展開してまいりたいと思っておりますので、今後ともご理解・ご協力を賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。

## 目次

◆国連の開発目標SDGsに貢献するJAグリーン近江 地域農業戦略Ⅶの取り組み …	P1
◆「みずかがみ」の品質向上と安定生産にむけて・生産拡大から品質向上へ ……	P2
◆令和5年産米出荷米奨励一覧 ……	P3
◆ガイドラインに沿った栽培で共同利用施設の効率運営へ！ ……	P4
◆安全・安心の米づくりは土づくりから目指せ!!すっきりとした稲姿 ……	P5
◆水田地力マップ ……	P6
◆土づくりおよび施肥コスト低減に向けた土壌診断の活用 ……	P7
◆水稻の時期にあわせて『土づくり』をしましょう!! ……	P8
◆育苗期にバイオ資材投入と水稻生育期（中間追肥）の微量元素投入で『元気な稲』づくりをしましょう!! ……	P9
◆統一版特別栽培米『みずかがみ』推奨ガイドライン ……	P10
◆統一版特別栽培米『コシヒカリ』・『秋の詩』推奨ガイドライン ……	P11
◆一般栽培米推奨ガイドライン ……	P12
◆種子消毒・育苗培土・水稻肥料成分表 ……	P13
◆肥料・農業商品一覧 ……	P14、15
◆雑草防除体系 ……	P16
◆除草剤の特徴 ……	P17
◆水田の主な雑草・ややこしい雑草 ……	P18、19
◆除草剤の上手な使い方・雑草イネ、裸地生による異品種混入 ……	P20、21
◆水稻病害虫判定シート ……	P22、23
◆令和5年産米肥料・農薬予約申込について ……	P24
◆農家所得増大に向けた取組について ……	P25

# 国連の開発目標 SDGsに貢献する JAグリーン近江 地域農業戦略Ⅶの取り組み

2020～2023

※※※ SDGs【持続可能な開発目標】とは ※※※

持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲットからなる、国連の開発目標です。2015年9月の国連総会で採択された『我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ』と題する成果文書で示された2030年に向けた具体的行動指針です。

協同組合精神で動いているJAはもともとこのSDGsの理念がビルトイン(内蔵)されていることから、この機会に「見える化」を図り、次期3ヵ年の取り組み計画の落とし込みを行いました。

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家組合員の所得増大</li> <li>・JA内事業間連携の強化</li> <li>・反収向上と生産コスト削減</li> <li>・地域農業のブランド化</li> </ul>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業活性化支援事業・園芸に係る機械・パイプハウス助成の継続</li> <li>・JA乾燥調製施設利用拡大提案</li> <li>・園芸用レンタル機械活用提案</li> <li>・畜産キャトルステーションの活用</li> </ul>
<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸特産の生産拡大</li> <li>・多収性品種の導入と多収栽培の提案</li> <li>・特別栽培米をスタンダードに</li> <li>・畜産クラスター事業活用で生産基盤の拡大</li> </ul>	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・准組合員との相互連携による地域の活性化</li> <li>・地域農業の連携(耕畜連携・担い手相互の連携・集落間の連携・農福連携)で様々な協同を提案</li> <li>・農を通じた地域貢献(直売所の充実)</li> </ul>
<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境こだわり栽培・特別栽培米の拡大</li> <li>・ゆりかご水田の取り組みにより生態系へ配慮</li> <li>・田んぼの学校など、地域で農業体験の継続</li> <li>・GAP(農業生産工程管理)の取り組み</li> </ul>	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工施設のHACCP取得</li> <li>・CEの品質向上と安全稼働体制の構築</li> <li>・(株)グリーンサポート楽農による地域農業のサポーター機能を拡充</li> <li>・GAP(農業生産工程管理)の取り組み</li> </ul>
<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食と農を結びコーディネーター</li> <li>・組合員組織(女性部)の充実</li> <li>・水稲育苗ハウスを活用した園芸振興</li> <li>・集落営農法人の女性グループによる農業への参画</li> </ul>	<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT技術を活用した営農指導</li> <li>・水稲の土づくり資材や堆肥投入による地力増進を推進</li> <li>・土壌分析の活用による的確な資材投入</li> <li>・温暖化に強い「みずかがみ」の作付け提案</li> <li>・園芸冷蔵設備導入に向けた検討</li> </ul>
<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田から濁水流出やマイクロプラスチック被覆流出防止の啓発</li> <li>・農業用廃プラスチック適正処理</li> <li>・環境保全型農業直接支払交付金制度活用</li> <li>・オーガニック農産物の検討</li> </ul>	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田から濁水流出やマイクロプラスチック被覆流出防止の啓発</li> <li>・ゆりかご水田の取り組みにより生態系へ配慮</li> <li>・湖辺外来種水草駆除による周辺農地環境保全</li> </ul>
<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業活性化支援事業・園芸に係る機械・パイプハウス助成の継続</li> <li>・畜産クラスター事業の活用</li> <li>・農業生産部会への支援</li> </ul>	<p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAの獣害対策支援の継続</li> <li>・水田フル活用と効率的な面的集積</li> <li>・高収益作物の導入提案</li> <li>・多収性品種の導入と多収栽培の提案</li> <li>・中山間地域農業への関わり</li> </ul>
<p>※赤字は地域農業戦略Ⅶに反映している項目です。</p>		<p><b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA出資型集落営農法人との連携</li> <li>・農業生産部会との関わりを深化させ成果を分かち合う活動</li> <li>・農業関連関係機関と密接な関係</li> <li>・協同組合間協同を進める</li> </ul>

わたしたちJAグリーン近江は国連の持続可能な開発目標(SDGs)を視点に「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として「持続可能な農業」を支え、「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に向けた取り組みを展開します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





# 「みずかがみ」の品質向上と安定生産にむけて ～生産拡大から品質向上へ～

滋賀県のブランド米として、グリーン近江管内では令和4年産米の作付け面積が1,330haとなり前年対比102%の作付けと増加しました。また、4年産については、他品種と比較しても高い1等比率をキープしています。今後もブランド米としての継続した信頼を得るためには、収量・品質等を高いレベルで維持する必要があります。

★JAグリーン近江のみずかがみ基準【特別栽培米・1等】を産地のブランド米として販売を行います。  
参考：1等-2等格差/俵(等級格差500円(1等のみ：特裁奨励200円・スクラム契約200円)合計900円)  
高品質米奨励/俵：プレミアム88【1,200円・セレクト600円】



4年産のみずかがみはカメムシの被害が多く、等級落ちの原因となっているんだ。

カメムシ対策は畦畔の草刈りとあわせて適期防除をすることがとても大切なんだよ。



## 生産者とJAの契約

### スクラム契約 (特別栽培米・1等)

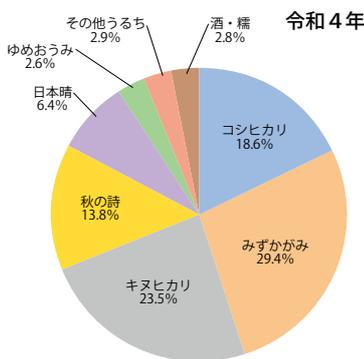
出荷契約数量の±10%の範囲  
「**地場：1等・施設：売渡数量**」  
に対して加算金を支払います



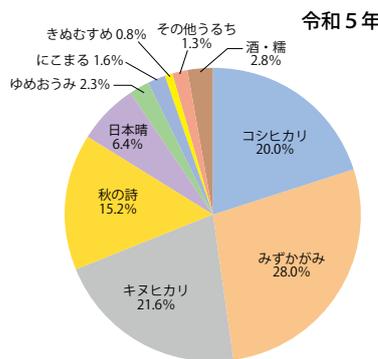
“生産者からの契約数量を基に、早期に実需者と契約を結び、安定販売を目指します!!”

## 需要に応じた生産販売

出荷契約品種比率



実需者要望品種比率



### 実需、結びつき販売先

- ・各生協：コープしが他7生協
- ・量販店：平和堂、百貨店など  
ドラッグストア・デリカ(弁当)
- ・地域内流通：直売所・道の駅  
・学校給食など



### 品種別販売（需要）状況

- みずかがみ：滋賀のブランド米として、更に安定した品質と生産が求められる。【高品質米として評価】
- コシヒカリ：主要銘柄として需要も多く安定した品質と生産が求められる。
- キノヒカリ：主食・業務等多用途に需要があり一定量の安定した生産が必要。
- 秋の詩：量販店・生協との結びつき商品として要望があり安定した生産が必要。
- 日本晴：業務・酒造用かけ米等の一定量需要がある。
- ゆめおうみ：業務用（デリカ 弁当）の安定した需要がある。
- にこまる・きぬむすめ：生協との結びつき商品として要望があり、拡大が求められている。

### ※令和5年産 以下の栽培別に品種を集約していきます。

特別栽培米：【みずかがみ・コシヒカリ・秋の詩・にこまる・ミルクークイーン・酒米】★生協・量販店など(加算金あり)

通常栽培米：【コシヒカリ・キノヒカリ・秋の詩・日本晴・ゆめおうみ・きぬむすめ・糯米】

★新たな推奨品種：【にこまる（特裁）・ミルクークイーン（特裁）・きぬむすめ】

### 付加価値米の差別化した販売

- ◎ 高品質・良食味米（プレミアム88）：生産者の「顔が見える商品」としてきてか～なにて販売
- ◎ 独自性のある栽培米（酒米・魚のゆりかご水田米・特許栽培米・農薬不使用米・緑肥栽培米・G-GAP/J-GAPなど）
- ◎ 有機JAS認定米：百貨店・直売所（きてか～な）で販売を実施。

# 令和5年産米出荷米奨励 一覽

単位：円/俵(税込)

精算項目	品種	品質	[支払時期：令和6年2月]			精算内容	最終精算時期
			出荷米奨励金		スクラム契約 1等		
			特別栽培米奨励 1等	持込奨励			
共同 計算	コシヒカリ	プレミアム88 *	1,000	100		概算金 + 各奨励・契約金 + 精算金	令和7年3月
		特別栽培米 *	200	100			
		JA米		100			
	みずかがみ	プレミアム88 *	1,200	100	* 200 (注)		
		セレクト *	600	100	* 200 (注)		
		特別栽培米 *	200	100	* 200 (注)		
	秋の詩 にこまる ミルククイーン	特別栽培米 *	200	100			
		JA米		100			
	その他	JA米		100			

上記\*は消費税軽減税率対象（8%）です。

## 【奨励金の基準など】

- 持込奨励は、地場検査場へ持込みをされ農産物検査で1等～3等に格付けされたものが対象となります。
- JA米は、種子更新・栽培管理日誌・GAP記帳を行い、農産物検査で1等～3等に格付けされたものが対象となります。

## 【特別栽培米奨励】

- グリーン近江統一版「特別栽培米ガイドライン」による栽培のもの、及び地域部会の特色ある取組みに対する加算です。
- プレミアム88：整粒80%・食味80点以上      セレクト：整粒80%・食味75点以上      ※地場個袋が対象
- JA米であることが確認され、かつ以下の等級及び数量が対象となります。
- 【地場：特別栽培米の1等が対象】【施設：特別栽培米の売渡数量が対象】
- 当該年産11月末までの出荷数量を対象としますが、需給動向を鑑み変更することがあります。

## 【各種精算】

- 共同計算：従来の年間を通した販売代金をプールし、精算支払いを行います。
- 早期精算：生産部会（結び付き品種）に限定して実施いたします。

## 【スクラム契約】

注）契約数量の範囲は出荷契約数量の±10%の範囲で出荷され、農産物検査で1等～3等に格付けされたお米とします。加算金は【地場検査：特別栽培米の1等が対象】【施設出荷：特別栽培米の売渡数量が対象】

# 令和4年産の価格動向と農家所得の確保について

令和4年産米の販売状況は、コロナ禍の影響が長引き需給環境の目安となる在庫数量である200万トンを超える状態が続いている中で、世界的な情勢不安や物価高騰なども影響し需給は均衡しております。このような状況ではありますが、当JAの令和4年産米概算金価格については前年産と比べて一部100円～300円/俵の値上げを実施いたしました。JAグリーン近江の販売として、実需者の要望をもとに安定した品質と数量を確保し、これまでの結びつき販売の継続や事前契約の充実を図り農家所得の増大に努めて参ります。

## 産米集荷用パレット・フレコンの返却について（お願い）

産米検査搬入・出荷用に使っていただいております貸出パレットおよびフレコンについては、当JAへの搬入・出荷用として使用いただき、異なる使用は厳禁とします。JAとして各生産者への受渡数量を把握させていただいておりますので、残ったパレット・フレコンは必ずご返却いただきますようお願いいたします。

産米集荷後に返却のない場合

- パレット 【紛失：9,000円/1枚 破損：7,000円/1枚を請求させていただきます】
- フレコン 【紛失 2,550円/1枚 請求させていただきます】

# ガイドラインに沿った栽培で 共同利用施設の効率運営へ！



現時点での育苗施設及び水稲荷受施設の取扱品種をご案内いたします。尚、各施設の取扱品種等の決定については、育苗施設は1月頃、荷受施設は8月頃にご案内いたします。

共同乾燥施設の再編（RC→CEへ段階的な集約）と併せ、施設間の品種集約を随時進めてまいります。施設の荷受効率を高めるため、トラックスケール等の導入に向けて検討します。

## 育苗センター

### ◆令和5年産米育苗取扱一覧(案)

品種名	田植予定日	苗種		
		発芽苗	硬化苗	密苗(発芽)
みずかがみ	4月末～5月上旬	●	●	●(指定日)
コシヒカリ	5月中旬～下旬	●	●	×
キヌヒカリ	5月中旬～下旬	●	●	●(指定日)
秋の詩	4月末～5月中旬	●	●	×
日本晴	4月末～5月中旬	●	●	×
ゆめおうみ	4月末～5月上旬	●(指定日)	×	×
麦跡水稻苗	小麦跡対応	●(指定日)	●(期間指定)	×

※田植予定日は、硬化苗の引渡予定日（除：発芽苗のみ対応品種）を示しております。

※密苗・ゆめおうみ・麦後水稻苗については、引取日を指定させていただきます。

※麦跡水稻の硬化苗には、上限枚数があります。



## 密苗がおすすめ!

### 10a当たり約10枚

グリーン近江の密苗は、乾籾約250g撒きとなっており、一般的な田植え機でも掻き取り量の調整で使用が可能な機種もあります。

枚数を減らしながら、植えられますので、大変省力的です。また、収量の差は見られません。

注：一般苗よりも播種量が多いため、生育期間が短くなったり、育苗期間が長くなると、いもち病が発生する可能性があります。

注：田植日は、発芽出荷日から14日から17日が目安です。

## 乾燥調製施設 (CE・RC)

乾燥調製施設については、引き続き施設再編計画に基づき品種や施設の集約に取り組みます。

施設は、待ち時間の長時間化に対するご意見を頂戴しておりますが、過積載防止の観点等から、運搬車両の大型化にご協力をお願い致します。

### ◆令和5年産米 施設別荷受取扱品種(案)

	品種名	大中CE	安土CE	長田CE	環境CE	日野CE	老蘇RC	上羽田RC
特 裁 米	みずかがみ	●		●	●	●		●
	コシヒカリ	●	●		●	●		●
	秋の詩	●	●		●			●
J A 米	コシヒカリ		●		●	●		●
	キヌヒカリ	●		●	●	●		●
	日本晴	●		●	●	●		●
	秋の詩			●	●			●
	飼料用米						●	▲

注：「▲」の飼料用米は、施設利用申し込み状況を踏まえて決定いたします。



◆上記以外の品種は、荷受できない場合がありますので、作付前にご確認をお願い致します。

◆岡山・上大森・五個荘中継センターは、3年が経過し荷受体制の検討をおこなっていることから改めてご案内いたします。

◆現在、施設運営の在り方について、総合的に検討しています。

◆今年度の荷受実績により、再度検証しますので、変更する可能性があります。

# 安全・安心の米づくりは土づくりから 目指せ!! すっきりした稲姿

良質米の生産は、土づくりからすでに勝負が始まっています。

## 土づくり

有機物の施用、土づくり肥料、深耕を実施しましょう。

## 育苗

薄播き、こまめな温度管理。ずんぐりとした根張りのある太い苗を育てよう!

## 田植え

通常植えの実施。(早生品種)  
1株3~4株を目標に、品種によって50~60株/坪で!元肥は規定量を施肥。  
緩効性肥料の使用で初期生育の過繁茂抑制。

## 中干し

中干しまでに倒伏防止と良食味米づくりにけい酸加里の施用をしましょう。

小さい分けつも含めて1株平均17~18本確認できれば中干し実施!  
適量追肥で穂肥前の体力維持を図ろう!

## 太茎づくり

## 穂肥・水管理

幼穂形成をまず確認!  
適期に適量の穂肥を実施!  
出穂期前後3週間は水を切らない!  
(カドミウム吸収抑制対策)

## 良品質米の出来上がり

## 乾燥・調製

急激な乾燥、高温での乾燥は胴割米の発生のもと!  
1.9mm網目で調製して品質向上(粳混入にも注意)  
作業前、品種変更時の清掃の徹底で、コンタミ防止。

## 収穫

適期刈り取りの確認(穂元に緑色粳が10~15パーセント残った時点)  
落水時期はできるだけ遅らせる!  
田面が白乾しそうならば、走水を実施!

## 防除

病害虫は耕種的防除と発生予察に基づく地域ぐるみの適正防除で品質向上!

畦畔草刈りは出穂3週間前頃と出穂期頃の2回実施



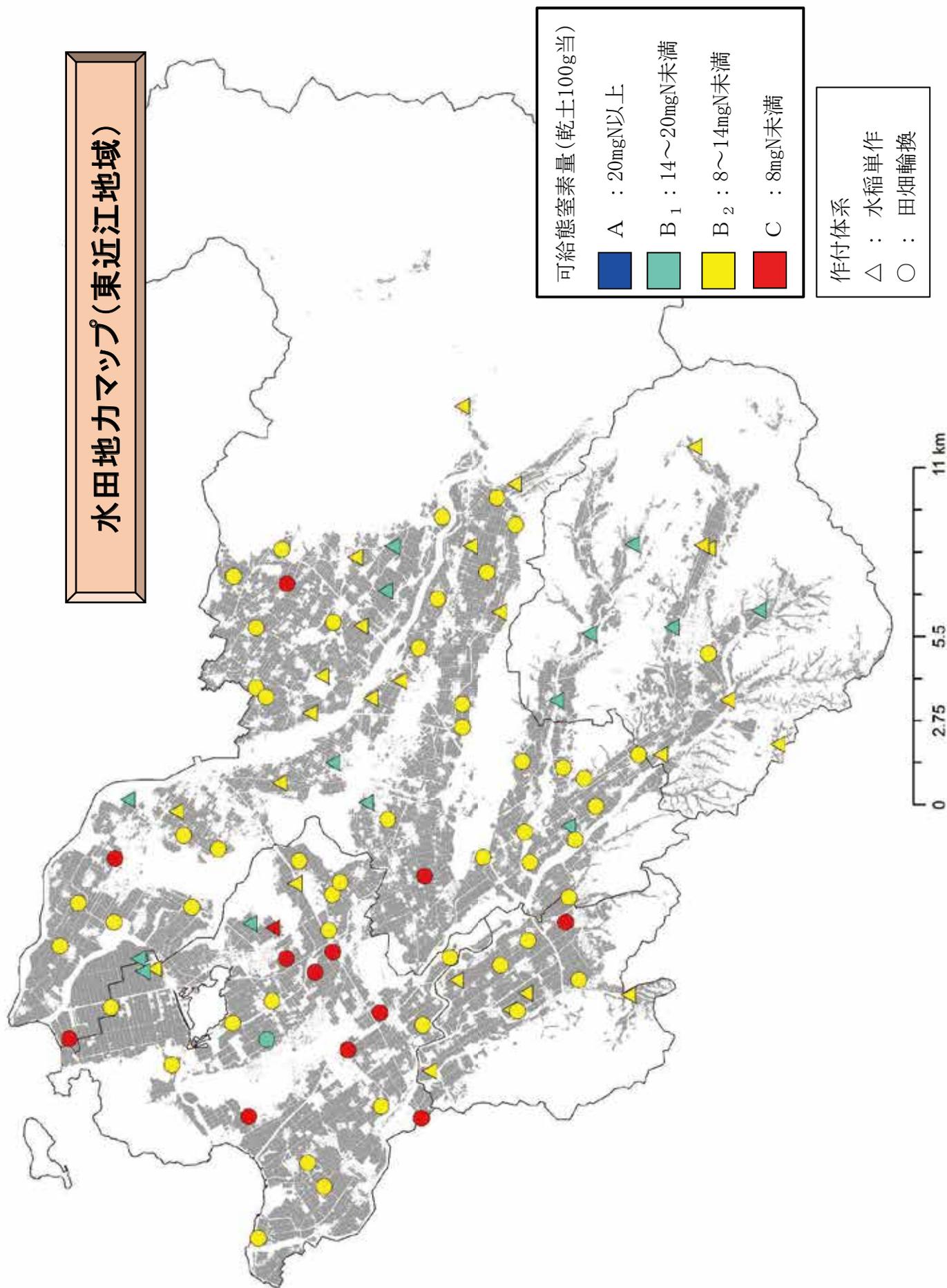
※近年元肥一発型肥料が普及し、高温の気象が続くと穂肥時期に肥料切れの圃場が散見されます。圃場を見て適切な施肥管理をお願い致します。

## ◎土壌分析を実施し、ほ場に応じた土づくり対策をしましょう。

※土づくりのポイント1・2・3

土づくりのポイント	①有機物の施用	有機物の投入は、土壌の団粒構造を高めるほか、土壌中の微生物活動を活発にし養分保持力を高めます。(稲わら・堆肥等)
	②土づくり肥料の施用	りん酸・けい酸・鉄分など昨年消費した養分を補給をすることで、翌年の良品質米生産につながります。土壌分析を実施し、土づくり資材等を適切に投入しましょう。
	③深耕	根の伸長を広げるとともに、土に保肥力を向上させ、根の動きを高め健全な稲を育てる事につながります。(15cm以上)

# 水田地カマップ(東近江地域)



# 土づくりおよび施肥コスト低減に向けた土壌診断の活用

作物の安定多収・品質向上のためには、土づくりを実施し土壌中の養分状態を良好に保つ必要があります。そのためには、土壌の不足する養分と過剰な養分を把握する「**土壌診断**」が有効です。

肥料価格高騰からも、養分過剰土壌における施肥コストの低減が再注目されております。  
**集落ぐるみや地域で土壌分析を実施しよう!!**

《土壌分析項目》

pH	EC	りん酸吸収	りん酸	CEC	石灰	苦土
(酸度)	(電気伝導度)		(有効態りん酸)	塩基置換容量		
加里	けい酸	酸化鉄	腐植	アンモニア態窒素	硝酸態窒素	

水稻分析項目：〈pH・CEC・りん酸・石灰・苦土・加里・けい酸〉

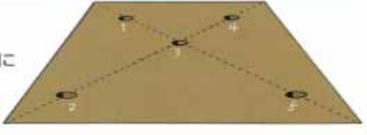
※上記の土壌分析は、担い手農家（認定農業者・法人）は無償、一般農家は1サンプル1項目当たり250円(税別)



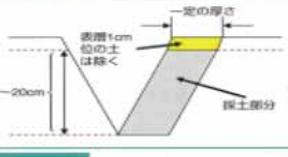
## 土壌サンプルの採り方

- 1 土を採る場所と時期**

土のサンプルは中央と対角線の5カ所から採り、合わせて均一にしてください。  
 収穫後、次作の作業（耕起・施肥）に入る前に採取しましょう。


- 2 土の採り方**

表土1cmぐらいを除いてから、深さ10～20cmの作土を移植ゴテで採ります。


- 3 採取した土を乾かす**

採取した土は、新聞紙などの上に薄く広げ、風通しの良いところで1週間くらい乾燥させます。


- 4 乾かした土を篩がけする**

乾燥させた土を2mmの目開きの篩に通して、細かい土を集めます。  
 篩の上に残った土は、軽く砕いて、また篩に通します。


- 5 サンプルを土壌採取袋に入れる**

所定の土壌採取袋（封筒）に土のサンプルを入れ、必要事項を書き込んで、JAの担当職員へお渡しください。



**診断結果が返ってきたら**



JA職員は診断結果と一緒に「処方箋（施肥改善の提案）」をお届けしますが、処方箋の内容はあくまでも一つの目安です。  
 JAからの提案をベースに、圃場を一番知っているみなさんの知識をプラスして、それぞれの圃場に合う具体的な方法を一緒に考えていきます。

※お問い合わせは、TACまたは各営農振興センターまで

※分析結果（処方箋）の提供には時間（1ヶ月半程度）を要します。ご了承下さい。

# 水稻の時期にあわせて『土づくり』をしましょう!!

水稻の生育に必要な養分として、炭素・水素・酸素・窒素・カリウム・カルシウム・マグネシウム・リン・硫黄で、その他に鉄・マンガン等が養分として必要です。お米の品質向上には、1にも2にも土づくりが欠かせません。土づくり資材は、健全な根の生育を助長するとともに、乳白粒や未熟粒の発生予防など安定した品質・収量を得るために、欠かす事の出来ない資材です。また、カドミウムの吸収抑制にも効果があります。特に、りん酸・けい酸は稲体を健全に生育させ病害虫に対する抵抗性も高まり、気象変動でも安定した米の生産が期待できます。

## ■ヘアリーベッチ栽培(緑肥栽培)

- ・播種量 3～5kg/10a (均一に播種)
- ・播種適期 湖辺・平坦 10月20日～30日  
中山間 10月15日～25日
- ※今後の取組としてご紹介させていただきます。

## ■ヘアリーベッチ栽培～水稻栽培の流れ



## ■収穫後～年内まで



有機物	施用量/10a	施用時期
牛ふん堆肥	1～2t	年内鋤き込み
鶏ふん	200～300kg	

※上記の堆肥を秋すき込みした場合(単年施用)は、土壌にあわせて元肥量を調整して下さい。

## ■収穫後～4月まで

### ●稲わらの全量鋤き込みと有機堆肥の投入が肥持ちを向上●



『新ふりかけ堆肥eco』腐植酸が通常堆肥の約10倍		施用量(10aあたり)
		60～100kg
特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粒状で機械散布ができます。</li> <li>・腐植酸によって発根を促進させ養分の吸収の促進が期待できます。</li> </ul>	

### ●けい酸投入で倒伏に強い稲体とカドミウム抑制●



『とれ太郎』けい酸の吸収利用率の高い資材				施用量(10aあたり)
				80kg (酸化鉄)
成分	＜溶性りん酸＞	＜溶性苦土＞	可溶性けい酸	アルカリ分
	6%	12%	30%	40%
特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・80kg施用でけい酸を24kg補給できます。</li> <li>・茎葉を丈夫にするので倒伏軽減に効果があり、登熟向上で粒張りが良くなり安定多収に効果があります。</li> <li>・りん酸・けい酸・苦土・石灰をバランス良く含んでいる総合的土づくり資材です。</li> </ul>			

### ●鉄が老朽化水田をリフレッシュ!! けい酸で稲体を強化●



『シリカサポート1号』ガス湧き抑制による活着促進、リン酸やけい酸との相乗効果で収量・品質向上!!				施用量(10aあたり)
				80kg
成分	＜溶性りん酸＞	＜溶性苦土＞	可溶性けい酸	アルカリ分
	3%	1%	20%	32%
特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の水田環境に近いpHで溶出しやすいけい酸(高溶出けい酸)を多く含み、稲に吸収されやすい資材です。</li> <li>・鉄がガス湧きや秋落ちを抑制します。</li> <li>・苗の活着を促し、登熟向上による品質や収量の向上が期待できます。</li> </ul>			

## ◎麦・大豆・野菜跡等の土づくりについて

麦・大豆・野菜などの田畑転換を行うことで、地力は年々低下します。地力を維持・向上するためには、麦・大豆・野菜跡であっても、土づくり資材を継続して施用しましょう。

また、麦・大豆・野菜跡などの残渣については、しっかりと土に鋤き込むことで、有機物として利用し、土づくり資材施用とあわせて稲の養分吸収にうまく活用しましょう。

育苗期にバイオ資材投入と水稻生育期（中間追肥）の微量元素投入で『元気な稲』づくりをしましょう!!

■育苗期

～強いイネは苗づくりから～

水稻は「苗半作」と言われるほど苗づくりが重要です。  
『ゆめバイオ』は“健康苗づくり”をお手伝いします。



方法	苗箱施用法	育苗時灌水法	浸種時浸漬法
施用量	培土量に対して資材5%	灌水に対して資材5%	水量に対して資材10%
手順	苗箱にいずれかの方法で施用する ①種もみの上に施用 ②覆土に混和 ③床土に混和	ゆめバイオと水を混ぜ合わせ、懸濁水を育苗初期に灌水する	浸種に使用する水にゆめバイオを入れ、種もみと合わせて浸漬する（浸種期間：3日以上）
模式図			



ゆめバイオ施用から15日後根張り写真

**施用効果（滋賀県）**

【育苗時】



【移植後】



**ゆめバイオの効果で、根張り向上!!**

■田植え前～生育期間中（中間追肥）

●けい酸加里プレミア34投入で根の張り促進、品質、収量向上に最適●



『けい酸加里プレミア34』けい酸&加里の相乗効果で根の張り促進、品質、収量向上						施用量(10aあたり)
成分	＜溶性加里＞	可溶性けい酸	＜溶性苦土＞	＜溶性ほう素＞	施用時期	
	20%	34%	4%	0.1%	秋施用(散布後すぐ耕起)	40～60kg
					春施用(散布後すぐ耕起)	
特性	・倒伏に強くなります。 ・登熟が向上し、収量・品質・食味が向上します。 ・高温障害の軽減が期待できます。【クーラー効果】 ・けい化細胞が強化され、茎や葉が丈夫になります。					20kg

●畑のカルシウム投入で硫黄欠乏による初期生育抑制障害(病み田)対策に最適●



『畑のカルシウム』 水稻の硫黄欠乏による初期生育抑制障害(病み田)対策に最適！濁水発生軽減に最適！							施用量(10aあたり)
成分	カルシウム	水溶性カルシウム	硫黄	水分	pH	施用時期	
	28.5%	26.3%	17%	0.6%	5.1%	代かき10～30日前	20～40kg
						代かき直後	
					追肥		
特性	・近年、硫黄欠乏による黄化症が確認されています。水稻の初期生育抑制障害(病み田)対策に最適な資材です。 ・代かき直後に散布することにより濁水発生を軽減することができます。(滋賀県農業技術振興センター実証済) ・根の張り・品質・収量が向上します。						

●美味しいお米づくり！生育旺盛!! 収量と品質向上に最適●



『マルチサポート2号』 吸収のしやすい苦土(マグネシウム)とけい酸で食味向上!! 生育向上!!									施用量(10aあたり)	
成分 (*効果発現促進材) (**含有成分)	水溶性苦土	水溶性マンガン	水溶性ほう素	銅*	亜鉛*	全けい酸**	鉄**	硫黄** (計算値)		
	12%	0.2%	0.2%	0.02%	0.05%	約20%	約3%	約10%	春散布(代かき前まで)	40～60kg
									田植え後(10～20日後目安)	20～40kg
								中間追肥(出穂約40日前)	20～40kg	
特性	・主成分である苦土(マグネシウム)やけい酸により、初期生育や根張りが向上し高温登熟や日照不足に負けない強い稲につながります。 ・吸収しやすい苦土と含有成分のけい酸により、タンパク含量を抑えられた甘みのある美味しいお米につながります。 ・硫黄を含んでおり、近年見られる硫黄欠乏による初期生育障害(病み田)対策としても使用できます。									

# ◇JAグリーン近江統一版 特別栽培米『みずかがみ』 推奨ガイドライン◇

## 滋賀県一の『みずかがみ』産地へ・・・特A産地をめざす!!

JAグリーン近江管内は、県内最大の『みずかがみ』の産地です。JAグリーン近江では、組合員農家のみなさまの努力が販売価格に反映されるような制度を拡充しています。実需者から求められるおいしい良質米『みずかがみ』の安定供給をめざしてがんばりましょう。

### ※『みずかがみ』栽培のポイント

- ・収量・品質を安定するには、穂数（茎数）を確保することが最も大切です。
- ・還元障害（病み田）対策を行い、初期の生育をしっかりと確保することが重要です。（初期生育が悪いと収量・品質に大きく影響します）
- ・JAグリーン近江管内において、土質（粘質土、砂質土、黒ボク土など）や地帯（湖辺・平坦・山間）によって生育が異なるのでほ場に応じた施肥管理を行いましょう。（麦・大豆・野菜跡の畑作転換ほ場に応じた施肥設計も同様です）
- ・気象変動に対応するため葉色診断に基づく施肥を実施することが重要です。

田植時期・栽植密度  
田植は、4月末～5月上旬に行い、遅れないようにしましょう。  
・湖辺：60株/坪  
・平坦：60～70株/坪  
・山間：70株/坪

## 『みずかがみ』特別栽培米農薬統一基準

項目	種子消毒	殺虫殺菌箱施用剤	除草剤			殺虫 本田防除剤
			①初中期一発剤	②ヒエが残った場合	③広葉雑草が残った場合	
指定農薬成分名	—	シアントラニプロール トルプロカルブ	イブフェンカルバゾン テフリトリオン	シハロホップブチル	ペンタゾンナトリウム塩	ジノテフラン
成分数	0	2	2	1	1	1
JA奨励農薬名 使用量 (10aあたり)	温湯 種子消毒	ツインキック箱粒剤 50g/箱	キマリテ1キロ粒剤	クリンチャー1キロ粒剤	バサグラン粒剤	スタークル粉剤DL
			1kg/10a	1～1.5kg/10a	3～4kg/10a	3kg/10a
			キマリテジャンボ	クリンチャージャンボ	バサグラン液剤	スタークル粒剤
			10個(300g)/10a	20～30個/10a	500～700ml/10a	3kg/10a
			キマリテフロアブル	クリンチャーEW	—	スタークル豆つぶ
500ml/10a	100ml/10a	—	250g/10a			
使用回数	—	1回	1回	1回	1回	1回

ばか苗が毎年気になる場合・・・

種子消毒：ばか苗対策 エコホープDJ 微生物農薬（農薬カウント0成分） チラシ参照（温湯消毒+エコホープDJ）

エコホープDJは、微生物農薬で使用期限が短い薬剤ですので、次年度への持ち越しはしないようにお願い致します。

### ※ 注意 ※

特別栽培米の基準は、各環境こだわり米部会の環境こだわり栽培認証を受けられる栽培を基準としますが、合計農薬成分数が7成分以内であっても上記の農薬成分以外を使用された場合はJAグリーン近江統一版の特別栽培米となりません。

※すでに結びつきのある部会の独自取り組みは特別栽培米扱いと致します。

## 『みずかがみ』施肥設計（ほ場に応じた土づくり・肥料・微量元素を施用しましょう）

時期	肥料名	施用量（10aあたり）	備考
土づくり	牛ふん堆肥	1～2 t	有機物の施用
	新ふりかけ堆肥eco	60～100kg	
	とれ太郎	80kg	選 択
	シリカサポート1号	80kg	
	けい酸加里プレミア34	40～60kg	
還元障害対策（病み田対策）	畑のカルシウム	20～40kg	代かき前（10～30日前）又は代かき直後・追肥
元 肥 又は 中間追肥（出穂35～40日前）	けい酸加里プレミア34	20kg	選 択
	マルチサポート2号	20～40kg	

### ＜元肥一発型（推奨）＞

地 帯	肥 料 名	施用量（10aあたり）	大豆跡等の施用量（10aあたり）
生育後半の肥持の良い水田 （粘質土、永源寺、日野、大中など）	みずかがみ基肥一発 13-5-5	60kg	30～50kg
生育後半の肥持の悪い水田 （砂質土、黒ボク土、湖辺など）	楽すけ 13-5-5	60kg	

### ＜分施肥型（推奨）＞

時 期	肥料名	施用量（10aあたり）	大豆跡等の施用量（10aあたり）
元 肥	滋賀こだわり元肥ハーフコート344 13-4-4	30～35kg	20～25kg
穂 肥	滋賀こだわり穂肥ハーフコート306 13-0-6	25kg	20～25kg

### ＜収量・品質向上対策＞

6月中旬頃の茎数が25本を下回ったほ場では、追肥を施用することでタンパクを上げることなく収量の向上を期待できるのでお勧めします。  
施肥時期：6月中旬 窒素施肥量：2kg/10a程度 参考肥料：滋賀こだわり元肥855 20～25kg/10a

# ◇JAグリーン近江統一版 特別栽培米『コシヒカリ』・『秋の詩』 推奨ガイドライン◇

## 『コシヒカリ』・『秋の詩』特別栽培米農薬統一基準

項目	種子消毒	殺虫殺菌箱施用剤	除草剤			殺虫 本田防除剤
			①初中期一発剤	②ヒエが残った場合	③広葉雑草が残った場合	
指定農薬成分名	—	シアントラニプロール トルプロカルブ	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	シハロホップブチル	ベンタゾンナトリウム塩	ジノテフラン
成分数	0	2	2	1	1	1
JA奨励農薬名 使用量 (10aあたり)	温湯 種子消毒	ツインキック箱粒剤 50g/箱	キマリテ1キロ粒剤	クリンチャー1キロ粒剤	バサグラン粒剤	スタークル粉剤DL
			1kg/10a	1~1.5kg/10a	3~4kg/10a	3kg/10a
			キマリテジャンボ	クリンチャージャンボ	バサグラン液剤	スタークル粒剤
			10個(300g)/10a	20~30個/10a	500~700ml/10a	3kg/10a
			キマリテフロアブル	クリンチャーEW	—	スタークル豆つぶ
500ml/10a	100ml/10a	—	250g/10a			
			—	—	スタークル液剤10 散布1000倍 無人航空機3倍	
使用回数	—	1回	1回	1回	1回	1回

ばか苗が毎年気になる場合・・・

種子消毒：ばか苗病対策 エコホープDJ 微生物農薬（農薬カウント0成分） チラシ参照（温湯消毒+エコホープDJ）  
エコホープDJは、微生物農薬で使用期限が短い薬剤ですので、次年度への持ち越しはしないようにお願いします。

### ※ 注意 ※

特別栽培米の基準は、各環境こだわり米部会の環境こだわり栽培認証を受けられる栽培を基準としますが、合計農薬成分数が7成分以内であっても上記の農薬成分以外を使用された場合はJAグリーン近江統一版の特別栽培米となりません。  
※すでに結びつきのある部会の独自取り組みは特別栽培米扱いと致します。

## 『コシヒカリ』・『秋の詩』施肥設計(ほ場に応じた土づくり・肥料・微量要素を施用しましょう)

時期	肥料名	施用量 (10aあたり)	備考
土づくり	牛ふん堆肥	1~2 t	有機物の施用
	新ふりかけ堆肥eco	60~100kg	
	とれ太郎	80kg	選 択
	シリカサポート1号	80kg	
	けい酸加里プレミア34	40~60kg	
還元障害対策（病み田対策）	畑のカルシウム	20~40kg	代かき前(10~30日前)又は代かき直後・追肥
元 肥 又は 中間追肥（出穂35~40日前）	けい酸加里プレミア34	20kg	選 択
	マルチサポート2号	20~40kg	

### 《元肥一発型(推奨)》

品種名	肥料名	施用量 (10aあたり)	大豆跡等の施用量 (10aあたり)
コシヒカリ	楽すけ 13-5-5	40~50kg	30~45kg
秋の詩	有機入りセラコートR355 13-5-5	55~60kg	35~50kg

### 《分施肥(推奨)》

時期	肥料名	コシヒカリ		秋の詩	
		施用量 (10aあたり)	大豆跡等の施用量 (10aあたり)	施用量 (10aあたり)	大豆跡等の施用量 (10aあたり)
元 肥	滋賀こだわり元肥ハーフコート344 13-4-4	20~25kg	15~20kg	25~30kg	20~25kg
穂 肥	滋賀こだわり穂肥ハーフコート306 13-0-6	25~30kg	20~25kg	25~30kg	20~25kg

### 《異常高温対策》

葉色が薄いほ場の場合（出穂期頃の葉色5以下の場合）生育維持（外観品質低下抑制）のため、追加施肥（止葉期追肥）をお勧めします。

施肥時期：止葉期～穂揃期まで

窒素施肥量：2kg/10a程度

参考肥料：滋賀こだわり元肥855 20~25kg/10a

## ◇一般栽培米 推奨ガイドライン◇

土づくり	病み田対策 (代かき10~30日前) 又は(代かき直後・追肥)	中間追肥 (出穂35~40日前)	種子消毒	育苗土壌消毒	除草剤 (3成分)
牛ふん堆肥 新ふりかけ堆肥eco とれ太郎 シリカサポート1号 けい酸加里プレミア34	畑のカルシウム	けい酸加里プレミア34 又は マルチサポート2号	温湯種子消毒 テクリードCフロアブル + スミチオン乳剤	タチガレエースM粉剤 又は タチガレエースM液剤	カイリキZ1キロ粒剤 カイリキZフロアブル カイリキZジャンボ

### 《元肥一発型(推奨)》

(10aあたり)

肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
これいいね(早生用) 27-7-10	30kg	40~50kg	—	—	—	—
すご稲(早生用) 25-10-10	30kg	40~50kg	—	—	—	—
ハイユコート024(早生用) 20-12-14	40kg	50~55kg	—	—	—	—
これいいね(中晩生用) 27-7-10	30kg	40~50kg	40~50kg	50kg	35kg	30kg
すご稲(中晩生用) 25-10-10	30kg	40~50kg	40~50kg	50kg	30kg	30kg
ハイユコート024L(中晩生用) 20-12-14	—	—	50kg	65kg	45kg	35kg
全窒素合計	8kg	10~13kg	10~13kg	13kg	8~10kg	7~8kg

※『コシヒカリ』『キヌヒカリ』を初期の分けつが悪い地帯や肥持ちのよい地帯で栽培する場合は、早生用をご使用ください。(これいいね、すご稲)

### 《省力分施肥型(推奨)》

(10aあたり)

時期	肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
元肥	ニューコートビッグパワー元肥 20-10-10	15kg	30kg	30kg	30kg	20kg	15kg
穂肥	コートビッグパワー穂肥 18-3-10	20kg	25kg	25kg	25kg	20kg	20kg
全窒素合計		7kg	11kg	11kg	11kg	8kg	7kg

※『コシヒカリ』『秋の詩』『滋賀羽二重糯』の穂肥は1回目出穂18日前、その他品種の穂肥は出穂25日前です。

### 《分施肥型(推奨)》

(10aあたり)

時期	肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
元肥	国産高度化成肥料444 14-14-14	15kg	30~40kg	40kg	40kg	15kg	15kg
追肥	国産高度化成肥料444 14-14-14	10kg	15kg	20kg	15kg	15kg	10kg
穂肥①	化成肥料201 20-0-10	10kg	15~20kg	20kg	20kg	10kg	10kg
穂肥②	化成肥料201 20-0-10	10kg	10kg	10kg	10kg	10kg	10kg
全窒素合計		8kg	11~14kg	14kg	14kg	8kg	8kg

※『コシヒカリ』『キヌヒカリ』の追肥は6月5~10日頃に施用、その他品種の追肥は6月20日頃です。

※『コシヒカリ』『秋の詩』『滋賀羽二重糯』の穂肥は1回目出穂18日前・2回目出穂11日前、その他品種の穂肥は出穂25日前です。

### 《大豆跡等の元肥一発型(推奨)》

(10aあたり)

肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩
新豆あと一発(早生用) 18-12-12	30kg	40kg	—	—	—
新豆あと一発(中晩生用) 18-12-12	—	40kg	40kg	40kg	35kg
全窒素合計	5kg	7kg	7kg	7kg	6kg

### 《異常高温対策》

葉色が薄いほ場の場合(出穂期頃の葉色5以下の場合)生育維持(外観品質低下抑制)にため追加施肥(止葉期追肥)をおすすめします。

施肥時期: 止葉期~穂揃期まで 窒素施肥量: 2kg/10a程度 参考肥料: 硫安10kg/10a 尿素5kg/10a

※各施肥の設計は参考にして頂き、土質と天候と管理によって倒伏する場合があります。

#### 《元肥一発型肥料 使用上の注意》

- 肥沃土では、1割程度控えめに施用してください。
- 山間地では、幾分多めに施用してください。
- 強い衝撃や摩擦により被覆肥料の被膜が損傷し溶出が早まる恐れがあるので注意してください。
- 元肥一発型肥料を使った水稻の生育過程は、従来、慣行施肥とも多少異なる場合がありますので、心配がある場合はJAまたは、東近江農業農村振興事務所農産普及課にご相談ください。
- ほ場条件等を考慮して施肥量を決めてください。
- 側条施肥については、田植前に必ず施肥量を確認し、使用中にも定期的に確認してください。

#### 田畑輪換田の注意事項

野菜・大豆跡の復元田(復元初年目)においては、前作の残存養分の影響が大きいため水稲栽培には以下のような注意が必要です。

倒伏を防止するための対策として、4cm前後のやや深植や活着後の浅水が有効です。

##### 1. 施肥量の調節

水田を畑(転作)として活用すると、土壌は酸化状態となりこれまで分解されなかった有機物が微生物の働きで分解され、可給態窒素量が増加されます。

水稻を作付けした場合の肥料の削減割合は、畑作期間に応じて施肥量を削減してください。

(例)麦一大豆跡、野菜跡

元肥窒素量: 転換期間1年の場合は、稲作初年度慣行の半量程度、2年目以降慣行

畑作期間2年の場合は、稲作初年度半量以下、2年目以降慣行

3年以上の場合は、稲作初年度無窒素、2年目半量、3年目以降慣行

穂肥窒素量: 葉色板数値(日本晴基準)4.5以上で穂肥省略

一般栽培では、「新豆あと一発」を使用してください。

## 種子消毒

温湯消毒	種籾は60～62℃の温湯に10分間浸漬した後、直ちに冷却する。
	浸種の水は1～2日に交換し雑菌繁殖を防止しましょう。
	温湯消毒後に種子水分が高いままで高温や高湿度条件下で保管すると、発芽・ばか苗の発生原因になります。

品名	容量	病虫害	濃度	時間	備考
エコホープDJ (微生物農薬) (特栽米 (環境こだわり米) 使用可)	500g	ばか苗・いもち病・苗立枯病	200倍 (水10ℓに50g)	24～48時間	浸種前 ～催芽前
テクリードCフロアブル	100ml	ばか苗・いもち病・籾枯細菌	200倍 (水10ℓに50ml)	24時間	種子8kg あたり 10ℓ必要
スミチオン乳剤	100ml	イネシンガレセンチュウ	1,000倍 (水10ℓに10ml)		

※エコホープDJは、微生物農薬で使用期限が短いため、次年度への持ち越しはしないようお願い致します。

※同じ薬液を3回以上使用しないで下さい (効果が極端に減少します)

## 育苗培土

	品名	容量	1袋あたり
床土	クリーン培土2号 (寒)	20kg	10枚
	びわこ2号育苗培土	20kg	6枚
	びわこ3号育苗培土 (ハイフミン入り)	20kg	7枚
覆土	クリーン培土2号 (寒)	20kg	16枚
	びわこ1号育苗培土 (肥料なし)	20kg	20枚

※軽い床土用万作さんもあります。

## 水稻肥料成分表

### ●特別栽培米用

(単位：%)

	肥料名	比重	窒素			リン酸	カリ	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
元肥一発型	みずかがみ基肥一発	0.75	13	6.7	4.1	5	5	—
	楽すけ(早生)	0.75	13	6.7	5.2	5	5	—
	有機入りセラコートR355(中晩生)	0.75	13	6.7	5.2	5	5	—
元肥	滋賀こだわり元肥ハーフコート344	0.72	13	6.8	4.0	4	4	—
	滋賀こだわり元肥855	0.75	8	8.0	—	5	5	1
	有機アグレット674	0.74	6	6.0	—	7	4	—
穂肥	滋賀こだわり穂肥ハーフコート306	0.70	13	6.7	4.0	—	6	1.5
	有機アグレット727	0.72	7	7.0	—	2	7	—

### ●通常米元肥一発肥料

(単位：%)

	肥料名	比重	窒素			リン酸	カリ	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
省力(早生)	これいいね(早生用)	0.78	27	—	17.5	7	10	—
省力(中晩生)	これいいね(中晩生用)	0.78	27	—	17.5	7	10	—
省力(早生)	すご稲N25(早生用)	0.82	25	—	15.0	10	10	—
省力(中晩生)	すご稲N25(中晩生用)	0.82	25	—	15.0	10	10	—
省力(早生)	ハイユークート024(早生用)	0.84	20	—	12.0	12	14	—
省力(中晩生)	ハイユークート024L(中晩生用)	0.82	20	—	12.0	12	14	—
省力(中晩生)	セラコートR3033(中晩生用)	0.79	30	—	18.5	3	3	—
省力(早生)	新豆あと一発(早生用)	0.87	18	—	13.9	12	12	—
省力(中晩生)	新豆あと一発(中晩生用)	0.87	18	—	13.9	12	12	—

### ●通常米栽培用

(単位：%)

	肥料名	比重	窒素			リン酸	カリ	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
元肥・追肥	国産化成肥料444	0.85	14	—	—	14	14	—
	ニュー有機ビッグパワー(元肥・追肥)	0.80	14	2.6	—	8	10	—
	ニューコートビッグパワー(元肥)	0.82	20	—	10.0	10	10	—
	有機アグレット674	0.74	6	6.0	—	7	4	—
	ネオペースト1号	1.35	12	—	—	12	12	—
	けい酸加里プレミア34	0.90	—	—	—	ケイ酸・34	20	4
穂肥	化成肥料201	0.78	20	—	—	0	10	—
	有機ビッグパワー(穂肥)	0.78	15	1.9	—	4	12	3
	コートビッグパワー(穂肥)	0.83	18	—	5.4	3	10	3
	有機アグレット727	0.72	7	7.0	—	2	7	—

(肥料の比重により施肥量が異なりますので、使用される施肥田植機の仕様書をご確認下さい)

# 水稲用肥料商品一覧

## 土づくり資材



とれ太郎      新ふりかけ堆肥eco      シリカサポート1号

## 育苗資材



クリーン培土2号(寒地)      びわこ培土1号2号3号      ゆめバイオ

## 元肥一発肥料



楽すけ      みずかがみ基肥一発      有機入りセフトR355      これいいね(早生・中晩生用)      すご稲N25(早生・中晩生用)      新豆あと一発(早生・中晩生用)

## 元肥・追肥



国産化成肥料14-14-14      滋賀こだわりハーフコート344      ニュ有機ビッグパワー      ニュコートビッグパワー      初コート1号

## 元肥一発肥料



ハイユコート(早生・中晩生用)

## 穂肥



化成肥料20-0-10      滋賀こだわりハーフコート306      有機ビッグパワー      コートビッグパワー

## 品質向上対策



けい酸加里プレミアム34      ファイトアップ

# 水稲用農薬商品一覽

## 種子消毒剤・育苗剤



テクロドC  
700PF



スミチカ  
乳剤



タカレエ-S  
M液剤

## 初期除草剤



メオ  
700PF



メオ  
ザンボ



メオ  
1kg粒剤



パレーゾ  
粒剤

## 一発処理除草剤



キマリテ  
ザンボ



カイリキZ  
ザンボ



ジェイソウル  
ザンボ



トップガンR  
ザンボ



アッパレZ  
ザンボ



ディオール  
ザンボ



キマリテ  
1kg粒剤



カイリキZ  
1kg粒剤



ジェイソウル  
1kg粒剤



トップガンR  
1kg粒剤



アッパレZ  
1kg粒剤



ディオール  
1kg粒剤



キマリテ  
700PF



カイリキZ  
700PF



ジェイソウル  
700PF



トップガンR  
700PF



アッパレZ  
700PF



ディオール  
700PF

## 中期・中後期除草剤



セカンドショット  
SザンボMX



サンパンチ  
1kg粒剤



クリンチャー  
1kg粒剤



バサグラン  
粒剤



ワイドパワー  
粒剤



アレルSC  
500ml

# 雑草防除体系

## 初中期一発型

農薬の登録内容は、令和4年9月現在の登録内容となっています。

薬剤名 (剤型)		散布量/10a	使用時期	ノビエ葉期
ジャンボ剤	キマリテジャンボ	30g×10個	移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	カイリキZジャンボ	30g×10個	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウルジャンボ	45g×10個	移植後1日～移植後30日まで	2.5葉期まで
	アッパレZジャンボ	40g×10個	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンRジャンボ	25g×10個	移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで
	デオーレジャンボ	40g×10個	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
フロアブル剤	キマリテフロアブル	500ml	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	カイリキZフロアブル	500ml	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウルフロアブル	500ml	移植時・移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで
	アッパレZフロアブル	500ml	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンRフロアブル	500ml	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	デオーレフロアブル	500ml	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
粒剤	キマリテ1キロ粒剤	1 kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	カイリキZ1キロ粒剤	1 kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウル1キロ粒剤	1 kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで
	アッパレZ1キロ粒剤	1 kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンR1キロ粒剤	1 kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	デオーレ1キロ粒剤	1 kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで

※移植時…田植え同時使用が可能です。

## 体系処理

初期剤名 (散布量 /10a)	中期剤名 (散布量 /10a)	中・後期剤名 (必要に応じて) (散布量 /10a)
メテオ1キロ粒剤 1kg メテオジャンボ (30g×10個)	セカンドショット SジャンボMX (25g×20個)	ワイドパワー粒剤 3kg
メテオフロアブル 500ml バレージ粒剤 3kg	★ クリンチャー1キロ粒剤 1～1.5kg ★ クリンチャーEW 100ml ★ クリンチャーバスME 1000ml ★ クリンチャージャンボ (50g×20個) バサグラン粒剤 (ナトリウム塩) 3～4kg ★ バサグラン液剤 (ナトリウム塩) 500～700ml サンパンチ1キロ粒剤 1kg アレイルSC 500ml	

注)・水保ちの悪い水田・転作跡には体系処理をおすすめします。

・体系処理剤は、一圃場各薬剤の散布は、1回以内です。★複数回数処理される場合は、当JAまでお問い合わせ下さい。  
○バサグラン、ワイドパワーは落水散布またはごく浅く湛水して散布してください。

## 湛水直播

初中期一発剤名 (散布量/10a)	中・後期剤名 (散布量/10a)
キマリテジャンボ (30g×10個)	クリンチャー1キロ粒剤 1～1.5kg
キマリテフロアブル 500ml	クリンチャーEW 100ml
キマリテ1キロ粒剤 1kg	クリンチャーバスME 1000ml
トップガンRジャンボ (25g×10個)	クリンチャージャンボ (50g×20個)
トップガンRフロアブル 500ml	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩) 3kg
トップガンR1キロ粒剤 1kg	バサグラン液剤 (ナトリウム塩) 500ml
	サンパンチ1キロ粒剤 1kg

○農薬の登録内容はメーカー間により違いや変更がありますので、農薬の使用に当たってはラベルを確認して使って下さい。  
○雑草名や農薬使用に当たり不明な点がありましたら各営農振興センターに相談して下さい。

# 除草剤の特徴

令和4年9月現在の登録内容です。

区分	剤型	薬剤名	成分数	初期・初中期一発除草剤																
				1年生雑草			多年生雑草						アミドリ藻類 表層剥離	移植時	湛水 直播	ノビエ葉期				
				ノビエ	コナギ	広葉	マツバ	オモト	ウリカク	ホタルイ	ミスカヤツリ	クログワイ					セリ			
初期剤	ジャンボ剤	メテオジャンボ	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	1.0葉期まで			
	フロアブル剤	メテオフロアブル	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	1.0葉期まで			
	粒剤	メテオ1キロ粒剤	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	○	×	×	◎	×	1.0葉期まで			
		ハレージ粒剤	2	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	1.5葉期まで			
一発剤	ジャンボ剤	キマリテジャンボ	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	×	×	◎	3.0葉期まで		
		カイリキZジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	×	◎	3.0葉期まで		
		ジェイソウルジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	○	×	◎	◎	2.5葉期まで		
		トップガンRジャンボ	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	2.5葉期まで	
		アツパレZジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×	◎	◎	3.0葉期まで	
		ディオーレジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	◎	3.0葉期まで	
		フロアブル剤	キマリテフロアブル	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	3.0葉期まで
	カイリキZフロアブル		3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	×	◎	3.0葉期まで	
	ジェイソウルフロアブル		3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	○	○	◎	◎	◎	2.5葉期まで	
	トップガンRフロアブル		4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	3.0葉期まで	
	アツパレZフロアブル		3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×	◎	◎	3.0葉期まで	
	ディオーレフロアブル		3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	◎	3.0葉期まで	
	粒剤		キマリテ1キロ粒剤	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	3.0葉期まで
		カイリキZ1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	×	◎	3.0葉期まで	
		ジェイソウル1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	○	○	◎	◎	◎	2.5葉期まで	
		トップガンR1キロ粒剤	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	3.0葉期まで	
		アツパレZ1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	3.0葉期まで	
		ディオーレ1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	◎	◎	3.0葉期まで	
	区分	剤型	薬剤名	成分数	中期・後期除草剤															
					1年生雑草				多年生雑草					湛水 直播	ノビエ葉期					
ノビエ					コナギ	広葉	イボクサ	ヒレタゴボウ	クサネム	ホタルイ	ミスカヤツリ	クログワイ	キシウスズメノヒエ			オモト	アシカキ			
中・後期剤	ジャンボ剤	セカンドショットSジャンボMX	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	3.5葉期まで	
		クリンチャージャンボ	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	◎	4.0葉期まで (1.5kg散布5.0葉期まで)	
	液剤	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	1	×	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	◎	×	
		アレイルSC	2	◎	○	◎	×	◎	◎	○	◎	◎	△	◎	×	◎	◎	◎	5.0葉期まで	
		クリンチャーEW液剤	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	◎	◎	6.0葉期まで	
		クリンチャーバスME液剤	2	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	×	◎	◎	◎	5.0葉期まで	
	粒剤	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	1	×	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	◎	×	
		クリンチャー1キロ粒剤	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	◎	◎	4.0葉期まで (1.5kg散布5.0葉期まで)	
		サンパンチ1キロ粒剤	4	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	3.5葉期まで
		ワイドパワー粒剤	2	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	◎	5.0葉期まで

◎:効果大 ○:効果あり △:効果小 ×:効果なし —:登録なし

★湛水直播栽培では使用方法が多少異なるのでラベルをご確認ください

1. JAグリーン近江の取り扱い農薬は、効果、薬害、環境への影響、経済性等を考慮して厳選しています。使用前には農薬容器のラベルをよく読んで、ラベルの記載事項を遵守してください。
2. この冊子の記載事項やJA広報誌ぐりんび〜すの記事および農談会での説明事項を参考に、正しい手順で使用しないと、薬害の発生や効果が不十分など農薬の特性を十分発揮できない場合がありますのでご注意ください。
3. 詳しい取り扱い方法等、ご不明の点があれば当JAまでお問い合わせください。

# 水田の主な雑草

■ 一年生雑草 ■ 多年生雑草 ■ 藻類



ノビエ



コナギ



キカシグサ



ミソハコベ



ミズアオイ



アゼナ



アメリカアゼナ



タケトウアゼナ



アゼトウガラシ



タマガヤツリ



イボクサ



アブノメ



タカサブロウ



タウコギ



アメリカセンダングサ



クサネム



アシカキ



ホタルイ



ウリカワ



ヘラオモダカ



オモダカ



マツバイ



ミズガヤツリ



クログワイ



ヒルムシロ



セリ



シズイ



エゾノサヤヌカグサ



キシュウスズメノヒエ



アオミドロ

# ややこしい雑草の見分け方

## クログワイ と ホタルイ

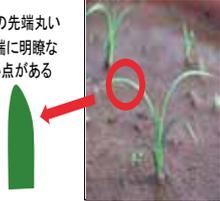
成植物



・葉の先端丸い  
・先端に明瞭な  
白い点がある



○葉を指でしごくときプチプチ音がする



・葉の先端丸い  
・先端に明瞭な  
白い点がある



○葉を指でしごくとき 花蕾のシコリがある

幼植物



葉は内側に丸みを帯びる



上から見ると  
円形に見える



○葉を指でしごくときプチプチ音がする



発生初期は上  
から見ると1列  
に見える

花



繁殖様式



## オモダカ と コナギ

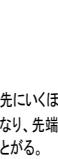
成植物



葉齢1～5葉期



先端はとがるが、  
全体的に丸みを  
帯びる。



先にいくほど細く  
なり、先端は鋭く  
とがる。

花

白色



紫色



繁殖様式



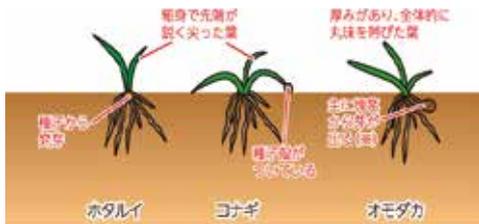
## ホタルイ幼植物 と コナギ幼植物

葉齢1～5葉期(花茎抽出前)

ホタルイ



コナギ



※種子から発芽する態体もあります。

## コウキヤガラ と ミズガヤツリ

成植物

コウキヤガラ



ミズガヤツリ



塊茎・花



## 除草剤の上手な使い方

## 中干しまでの水管理が重要です!!

### ①処理の水深は5cm以上

散布時の水深は、ジャンボ剤・フロアブル剤は必ず5～6cmの湛水状態を保って下さい。

※一般的に粒剤よりもジャンボ剤やフロアブルの方が水中で広がりやすい特性があります。

### ②水口、水尻をしっかり止める

処理後は少なくとも7日間はそのまま湛水を保ち、落水・掛け流しはしないで下さい。田面を露出させないようにしましょう。

### ③藻・浮草の発生前に散布

藻・浮草が発生していると、拡散が不十分となり効果が劣ることがありますので、使用時期の範囲内で早めに散布して下さい。

## 水田の藻対策について

### <藻を退治する秘訣>

田植後に藻が大量発生したときは、夜間に落水して翌日に灌水するなどして、新しい水に入れ換えてみましょう。大雨が降れば、藻や表土剥離、ワキは自然に消滅しますので、水の入換えは不要です。

また、水温が30℃以上になれば、アオミドロや藻は死滅します。

藻が発生したままで除草剤をまくと、ジャンボ剤やフロアブル剤の拡散が悪くなるので除草効果が著しく悪くなります。除草剤を撒く前に水を入れ換えるなどの対策をしておきましょう。

★藻に効く除草剤成分：ジメタメトリン(バレージ粒剤・サンパンチ1キログラム粒剤 等)

## 近年の難航雑草について～水田の厄介な雑草防除特集～

### ヒレタゴボウ

- ◇アカバナ科の一年生雑草で、熱帯アメリカ原産の帰化植物です。
- ◇発生時期が遅く、田植え直後の除草剤だけでは防除が難しい。
- ◇草丈は30cm～100cmを越えるものもある。
- 中干し頃に幼植物が見られた場合は中後期剤にて防除を行います。  
「セカンドショット」「バサグラン粒剤」「バサグラン液剤」「アレイルSC」が有効とされています。

### アメリカセンダングサ

- ◇キク科の一年生雑草で、成熟すると150cm近くに育ち収穫作業に影響を及ぼす。
- ◇田面の露出した部分に発生しやすく、一旦定着すると湛水下でも旺盛に生育する。
- 生育初期の個体には「セカンドショット」「バサグラン粒剤」「バサグラン液剤」が有効とされています。
- 生育の進んだ個体には「アレイルSC」が有効とされています。移植

### キシウスズメノヒエ

- ◇イネ科の多年生雑草で、水路や畦畔に多く生育し水田に侵入してくる。
- ◇伸長中の茎は切断されても節があるとそこから発根発芽する。
- 生育初期の個体には「セカンドショット」「サンパンチ1キログラム粒剤」が有効とされています。
- 生育の進んだ個体には「クリンチャー」が有効とされています。
- 耕起による切断・埋没ではほとんど死滅しない為、水稻刈跡に非選択性除草剤「ラウンドアップマックスロード」による防除が効果的です。

### クサネム

- ◇マメ科の一年生雑草で、種子が玄米と同程度の大きさです。収穫時に混入すると除去が困難な為、等級を低下させてしまいます。
- ◇湛水状態よりも畑地状態を好む為、田面露出部分からの発生が多いです。
- 生育初期の個体には「セカンドショット」「バサグラン粒剤」「バサグラン液剤」が有効とされています。
- 生育の進んだ個体には「アレイルSC」「ノミニー液剤」が有効とされています。

### イボクサ

- ◇ツユクサ科の一年生雑草で畦畔際に多く、茎が地面を這うように伸び圃場内へと侵入してくる。
- ◇水稻に絡みついため、水稻の減収や倒伏の他、収穫作業の障害となる。
- 初中期一発除草剤の場合「ジェイソウル」が効果が高い。
- 生育の進んだ個体には「セカンドショット」「ノミニー液剤」が有効とされています。

### ノビエ

- ◇イネ科の一年生雑草で、穂はカメムシを誘引するため斑点米被害にもつながります。
- 初中期一発除草剤の場合「カイリキZ」が残効性が有り効果が高い。
- 発生が確認されたら、「セカンドショット」「クリンチャー」で防除を行う。(ヒエの葉期を確認すること)
- 水保ちが悪い場合は、「ワイドパワー粒剤」「アレイルSC」「クリンチャーバスメ」「クリンチャーEW」が効果が高い。



## 雑草イネの異品種混入防止対策

近年、一部の地域において、雑草イネの発生が目立ちます。異品種混入の原因となるので「雑草イネの抜取り」をしてください。除草剤の体系処理を行い雑草イネ対策をしっかりと行いましょう。

### 「雑草イネとは」

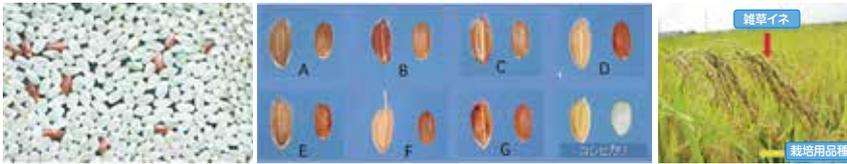
- ・雑草イネとは、栽培している水稻品種と同じ植物ですが、栽培イネとはその形質や生体は異なります。
- ・雑草イネには、赤い玄米のものがあり、収穫したお米に雑草イネの赤米が混じると品質が悪くなります。
- ・雑草イネは種子（籾）がこぼれやすく、出穂後10日くらいで種子（籾）が脱落して、次年度の発生源となります。

### 「雑草イネの見分け方」

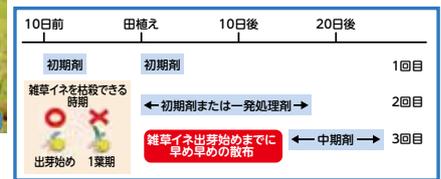
- ・雑草イネは、芒や籾の先（ふ先）が赤いものも多く、徐々に籾が黒く変色する雑草イネもあります。出穂期に穂や籾をよく観察すると見分けることができます。また、草丈の高いものや低いもの、出穂の早いものや遅いものなど、さまざまなタイプがあり、栽培しているイネとは草姿や出穂期が大きく異なるので見分けることができます。
- ・出穂前に雑草イネと栽培イネを見分けることは、極めて困難です。

### 「雑草イネの防除」

- ・雑草イネの種子（籾）が脱落する前に（出穂後1～2週間を目安に）、可能な限り雑草イネを見つけて抜き取ります。
- ・雑草イネが発生する地域では、条間や株間に生えるイネ（裸地生え）は雑草イネである可能性があるので、早めに抜き取ります。
- ・水稻収穫後には、雑草イネのひこばえが種子（籾）を落とさないように、ラウンドアップマックスロードなど非選択性除草剤などを全面散布します。
- ・雑草イネの種子（籾）はほ場内では3年程度生存するので、3年間徹底防除を続けると発生をなくすることが可能です。雑草イネが発生した水田では、次年度は転作大豆や野菜などを栽培し、3年間イネ科雑草を徹底防除を続けることで駆除することができます。



有効な除草剤	使用時期
初期除草剤	植代～移植7日前まで
エリジャン乳剤	または移植直後～ 但し移植後30日まで
初中期剤	移植時または移植直後～
カイリキZ1キ口粒剤	但し移植後30日まで
中期剤	移植後20～30日
ザーベックスDX1キ口粒剤	



農研機構「雑草イネ・漏生イネ 防除技術マニュアル」より

## 裸地生えによる異品種混入防止対策

近年、裸地生えの発生が目立ちます。異品種混入の原因となるので「裸地生えの抜取り」と「深耕」を励行しましょう

■ 出穂期までに抜き取りを実施してください（穂が傾き始めると判らなくなります）。

※ 秋鋤きを早めに行ない、立毛中や収穫作業でこぼれた種もみを地中深くすきこみましょう。

## 一稲わらや刈株を秋耕ですき込みましょう

次の注意事項に該当する場合は、**すぐに秋耕しましょう。**

水稻の収穫後、稲わら残渣や刈株再生芽（ヒコバエ）が見られます。

### 1. イネ縞葉枯病の発生に注意！

- ・縞葉枯病は、刈株再生芽の葉が黄色く退色し、巻いたり曲がって垂れ下がる症状が特徴です。
- ・刈株再生芽は病気の伝染源になるため、速やかにすき込んで下さい。

### 2. 刈株再生芽の成熟した籾に注意！

- ・刈株再生芽が、出穂しています。
- ・特に早生品種で、籾が成熟してしまうと、発芽する場合があります。
- ・来年の裸地生えの原因になりますので、速やかにすき込みましょう。
- ・混種を防ぐため来年も同じ品種を植えましょう。

### 3. 残渣や雑草が多い場合は還元障害に注意！

- ・台風の影響で稲が倒伏し、刈り残しがあるほ場や雑草が多いほ場があります。
- ・来年の水稻作で、作物残渣や雑草などが十分に分解されないまま田植えすると、土壌還元障害により生育が抑制される場合があります。
- ・秋耕で作物残渣等の分解を促進しましょう。



発病株（左）と健全株（右）



出穂し籾が成熟した株



倒伏した稲（左）と還元障害（右）

# 水稻病害判定シート

一ほ場で見分ける一

## 葉に症状が出る病気



★葉に出る障害の見分け方★

<p>灰白色</p> <p>褐色</p> <p>葉いもち</p> <p>葉にながいひし形の病斑。縦に褐色の線が伸びる。</p> <p>黄色</p>	<p>白葉枯病</p> <p>葉の先端付近から両縁に波形の病斑が現れる。</p>	<p>赤葉枯病 (生理障害)</p> <p>下葉の先から赤褐色の細かい斑点ができる。病原菌によるものではなく、伝染しない。</p>
<p>褐色～灰白色</p> <p>黒褐色</p> <p>黄色</p> <p>ごま葉枯病</p> <p>丸みを帯びた病斑。同心円状の輪紋がある。</p>	<p>白色</p> <p>黄白色～オレンジ色</p> <p>除草剤の害 (畦畔除草剤)</p> <p>健全部と異常部の境目がはっきりしている。薬剤による症状は異なるので、周囲の状況を見て診断する。</p>	



## 穂に症状が出る病気



本田予防または、発病が認められたら・・・

病名	薬剤名	使用量	効果	使用時期
いもち病	コラトップ粒剤	3～4kg/10a	予防	葉いもちに対しては初発20日前～初発時 穂いもちに対しては出穂30日前～5日前まで
	ブラシン粉剤	3～4kg/10a	治療	収穫7日前まで
紋枯病	モンガリット粒剤	3～4kg/10a	予防	収穫45日前まで
	モンカットファイン粉剤	3～4kg/10a	治療	収穫14日前まで
	リンバー粒剤	3～4kg/10a	治療	収穫30日前まで

※特別栽培米には、使用できませんのでご注意ください。

# 水稻害虫判定シート

—ほ場で主要害虫を見分ける—

## 移植期～出穂期(春～夏)の害虫



イネドロオイムシ  
(幼虫4～6mm)



セジロウンカ  
(成虫4～4.5mm)



コバネイナゴ  
(成虫30～40mm)



イネクロカメムシ  
(成虫6～9.5mm)



イネミズゾウムシ  
(成虫3mm)



イネミズゾウムシ  
(さなぎ3mm)



ニカメイガ  
(幼虫1.6～23mm)



ニカメイガ  
(成虫15～17mm)

## 出穂期～収穫期(夏～秋)の害虫



アサジカスミカメ  
(成虫5～7mm)



クモヘリカメムシ  
(成虫16mm)



イネホソドリカスミカメ  
(成虫6mm)



ホソハリカメムシ  
(成虫9～11mm)



トビロウンカ  
(成虫4～4.8mm)



ツマグロヨコバイ  
(成虫4.5～5.3mm)



トゲシラホシカメムシ  
(成虫4.5～6mm)

### 斑点カメムシ類

イネの出穂2～3週間前と出穂期の2回草刈りが有効です。

# 令和5年産米 肥料・農薬予約申込について

JAグリーン近江では、肥料・農薬の予約申込みに対し、下記の取り組みを行います。  
農家組合員の所得増大に向けた取り組みとして、水稻資材のコスト低減を図ります。

予約申込期日までにお申込み頂くと、予約価格にてお買い求め頂けます。

## **【予約申込期限厳守】**

**予約申込期日……令和5年1月16日(月)まで**

### ①肥料・農薬引取価格について

- ・土づくり肥料及び育苗培土 → 引取1袋(20kg)20円引き
- ・肥料 → 引取1袋(15kg・20kg)30円引き
- ・農薬(通常規格) → 引取1袋(1本)15円引き
- ・農薬(10kg以上・2ℓ以上) → 引取1袋(1本)30円引き

注) フレコン袋は20kg換算します。 注) 超大型規格は対象外です。

注意) \* 予約配送の配送は、JAグリーン近江配送計画に基づいて実施致します。

\* 引取指定日の都合が悪い場合は各営農振興センターにご相談下さい。

### ②担い手農家等への対応

★各営農振興センター及びTACが連携をとり、希望がある場合は、購入金額に応じて見積対応致します。

★大規模経営農家、集落営農組織・農業法人への対応は各営農振興センターまでお問合せ下さい。

### ③代金決済 決済時期／令和5年9月末(予定)



# 農家所得増大に向けた取組について

## その① 予約期間の厳格化で、共同購入のメリットの発揮

令和5年産米予約肥料・農薬申込み期日は令和5年1月16日(月)まで。  
 令和5年1月16日(月)以降に申し込まれた場合は、当用価格となります。

	令和4年					令和5年						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産者		早期配送申込			肥料農薬申込(通常)							
JA				早期配送			育苗培土・元肥一発 元肥・追肥配送	水稻種子・除草剤配送	箱施用剤配送		水稻雑草 対策運動	

## その② 超大型規格農薬によるコスト抑制と商品紹介

4ha規格

特別栽培米推奨

キマシテ

12kg (2haケース×2セット)



×2

ジャンボ剤

カイキズ

12kg (2haケース×2セット)



×2

ジイワル

18kg (1haケース×4セット)



×4

特別栽培米推奨

キマシテ

40kg (20kg袋×2セット)



1キロ粒剤

カイキズ

40kg (20kg袋×2セット)



ジイワル

40kg (20kg袋×2セット)



エムR

40kg (10kg袋×4セット)  
(10kg袋×2) × 2箱



デオール

40kg (5kg袋×8セット)  
(5kg袋×4) × 2箱



×2

※超大型規格は受注生産商品の為、返品できません。予めご了承ください。

(別紙様式1-2)

## 令和5年産「みずかがみ」遵守事項確認書

令和 年 月 日

近江米振興協会長 様  
(種子取扱業者経由)申請者  
電話番号  
住 所  
氏 名

印

(本人自署の場合は押印不要)

令和5年度において、「みずかがみ」を栽培したいので、令和5年産「みずかがみ」生産ガイドライン第3の2に基づき、誓約事項のすべてを誓約の上、下記のとおり申し込みます。

## 記

「みずかがみ」の栽培予定面積

栽培予定面積 (a)

## ○誓約事項

チェック欄 (記載内容を確認し、誓約する場合には、チェック欄に☑を記入すること)

1. 栽培申込みのあった者の種子需要量の合計が、種子の確保量を超えた場合には、近江米振興協会が行う、生産者および栽培面積の調整に応じます。
2. 作付けにあたっては、環境こだわり農産物の生産計画認定を受けます。
3. 県が作成する栽培基準に沿って栽培します。
4. 全量種子更新し、自家採種は行いません。
5. 種子を第三者に譲渡しません。
6. 出荷にあたっては、1.85mm以上の網目で調製します。
7. 出荷にあたっては、農産物検査を受検します。
8. 飼料用米やWCS用稲として栽培しません。
9. 栽培ほ場には、ほ場看板等を設置します。

以上

(注) ※1 令和2年12月の種苗法の一部改正により、法律によっても自家採種は禁止されます。

※2 個人情報の取扱い (利用目的)

この確認書で知り得た情報は、上記実施要領に基づく確認のために利用するもので、他の目的には使用しません。

この確認書は、種子取扱業者経由で近江米振興協会へ提出します。

※3 申込みには誓約事項のチェック欄のすべてにチェックする必要があります。誓約事項9は任意ですが、できる限りお願いします。

# 令和5年産「みずかがみ」作付予定ほ場一覧表

令和 年 月 日

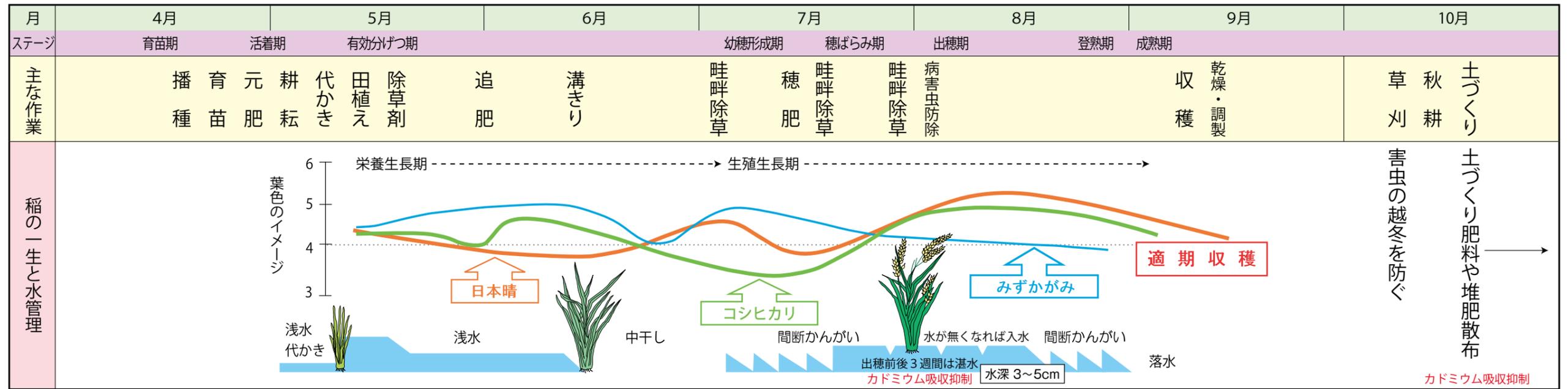
(☆ 滋賀県の環境こだわり農産物認証申請を行うため、必ずほ場をご記入頂きますようお願い致します。)

No.	圃場所在地	面積 (a)	備考
1	町小字 番地	a	
2	町小字 番地	a	
3	町小字 番地	a	
4	町小字 番地	a	
5	町小字 番地	a	
6	町小字 番地	a	
7	町小字 番地	a	
8	町小字 番地	a	
9	町小字 番地	a	
10	町小字 番地	a	
11	町小字 番地	a	
12	町小字 番地	a	
13	町小字 番地	a	
14	町小字 番地	a	
15	町小字 番地	a	
16	町小字 番地	a	
17	町小字 番地	a	
18	町小字 番地	a	
19	町小字 番地	a	
20	町小字 番地	a	
	合 計	a	

(注) 必ず、共済細目書の作付面積をご記入下さい!



# 水稻栽培ごよみ



①落水時期は、収穫に支障のない限りできるだけ遅くしてください。 ②各品種とも、収穫時期まで生葉3枚以上確保を目標にしてください。 ③出穂3週間前から畦畔雑草の刈り取りを徹底し、カメムシ予防につとめてください。

## 作業スケジュール (下記スケジュールは、気温により前後いたしますので目安としてご利用ください)

品種	播種	田植	追肥	中干し		穂肥①		穂肥②	出穂期		収穫期		備考		
	月日	月日	月日	月日	中干し開始 (60株植)	月日	幼穂 葉色板色	月日	月日	葉色板色	月日	稈長			
5月上旬植	みずかがみ			—	6月10日	16~17本/株	6月30日		3.5	—	7月25日	5.0	8月27日	84cm	茎数が少ないので5月上旬植を励行し、早期分けつを確保する(平地では60株/坪植)。
	ゆめおうみ						7月11日	1mm	4.0	7月18日	8月5日		9月8日	73cm	早植え多肥栽培や早期落水により腹白、死米が発生するので注意。
	日本晴	4月15日	5月5日	6月20日	6月中旬~	17本~18本/株	7月17日			7月24日	8月11日	5.5	9月14日	83cm	秋落ち水田では、ごま葉枯病や穂枯れが出やすいので土づくりを徹底する。
	秋の詩						7月27日	8~10mm	3.5	8月3日	8月14日		9月18日	94cm	いもち病に弱く、倒伏しやすいので肥沃地では施肥量、施肥時期に注意。
	滋賀羽二重糯			6月25日~	6月中旬~	16本~17本/株	7月28日	8~10mm	3.5	8月4日	8月15日	5.0	9月20日	103cm	倒伏しやすく、いもち病に弱い。漏生もみによる混種に注意。
5月中旬植	コシヒカリ	4月28日	5月15日	6月10日	6月中旬~	17本~18本/株	7月10日	8~10mm	3.5	7月17日	7月28日	5.0	8月31日	95cm	いもち病に弱く、倒伏しやすいので、穂肥の時期と施用量に注意。
	キヌヒカリ						7月4日	1mm	4.0	7月11日	7月29日	5.5	9月1日	83cm	穂発芽しやすいので高温多湿時には刈り遅れに注意。乳白・心白が出やすいので注意。

注意:1. 穂肥施用後、葉色が徐々に濃くなるよう穂肥②で加減してください(出穂期に上表の葉色数値が上限です) 2. 中苗植えの場合は幼穂形成期・出穂期が2~3日早くなります。収穫時期もその分早くなりますので刈り遅れないようにしてください。

## 育苗(稚苗)作業スケジュール

※(下記スケジュールは、気温により前後いたしますので目安としてご利用ください)

育苗の手順	種子消毒	風乾	浸種	催芽	播種	出芽	緑化	硬化	田植	
		温湯消毒後はそのまま冷水で浸種するか、冷却後十分乾燥する(薬剤消毒では風乾後に浸種する)	浸種の水は2日毎に交換して下さい。1日の平均気温の積算が100℃(薬剤消毒のときは流水に漬けない)。	30~32℃ 32℃を超えないように。	薄まきし、健苗をつくる。 稚苗:160g	出芽器の温度は30~32℃として、鞘葉が1cm位出た頃に緑化へ移す。	天候により健苗シートの管理に十分注意して下さい。葉身が緑になるまで強い日光や低温にあてない(昼25℃、夜18℃)	晴天日の日中は換気を十分行う(昼間20℃、夜間15℃)		
		5/5日植	4/2	4/2~5	4/5~12	4/12~14	4/14	4/14~17		4/17~20
5/15日植	4/15	4/15~18	4/18~25	4/25~27	4/27	4/27	4/27~4/30	4/30~5/3	5/3~	5/15

水稻種子は、浸種中および催芽期に低温(10℃以下)にあたると出芽が著しく悪くなります。育苗器を使用しない出芽方式では、気象条件によって苗の出芽不良を生じる場合があるので、温度管理と水管理に十分ご注意ください。

※毎年必ず種子更新しましょう ※同じ薬液を3回以上使用しないで下さい(効果が極端に減少します)

# 令和5年産米 滋賀県版GAP

各項目のチェック欄に、正確に取り組まれた項目は○、一部取り組まれた項目は△、来ていない項目は×、該当しない場合は－を記入してください。

団体名	住所
氏名	電話番号

目的	番号	点検項目	チェック	目的	番号	点検項目	チェック
ほ場における環境衛生管理	1	周辺の廃棄物や有害物質等から、ほ場や用水への汚染がないか確認する。		肥料による環境負荷の低減	30	土壌診断結果や施肥基準に基づく施肥を行う。	
	2	農薬を使用する前に、登録農薬であるか確認する。(農林水産省の登録番号を確認するなど)			31	たい肥を施用する場合は、外来雑草種子等の殺滅のため、適切にたい肥化されたものを施用する。	
	3	ラベルに記載されている最終有効年月を過ぎた農薬を使用しない。			32	(畦畔等からの漏水防止対策) あげ塗り、畦畔の補修、畦畔シートの設置等を行う。	
農薬の安全・適正使用	4	農薬は、適用作物名や希釈倍数、使用時期、注意事項等ラベルに記載されている使用方法を守って使う。		琵琶湖の水質保全	33	(浅水代かき) 水田ハローやロータリによる浅水代かきを実施する。	
	5	防除器具の使用にあたり、事前にノズル等を点検する。			34	(田植え前の水管理) 田植え前の強制落水を行うわない。	
	6	防除器具の使用にあたり、タンク、ホース、ノズル等が十分に洗浄されているか確認する。			35	代かき～田植え後は、こまめに排水口や畦畔からの漏水がないことを確認する。	
農薬、燃料等の保管管理	7	使用後は、タンク、ホース、ノズル等を十分に洗浄する。		健全な土壌の確保	36	県が定める環境こだわり農産物栽培基準「たい肥その他の有機質資材の施用基準」に基づき、たい肥等の有機物を施用する。	
	8	農薬を散布しようとするほ場周辺の栽培作物を確認し、必要に応じて、飛散が少ない形状の農薬、散布方法、散布器具等を選択する。			37	降雨や強風によって土壌が浸食を受け作土層が失われていくおそれがある場合には、土壌の浸食を軽減する対策を実施する。水田の場合は、用水路の管理や、畦畔崩壊防止対策も実施する。	
	9	農薬や肥料、燃料は、専用の保管場所(農産物や他の資材等と接触しないよう)に保管する。特に、劇薬物については、容器・貯蔵場所等へ表示する。			38	農薬、肥料等の空容器や空袋、使用済みハウスビニール、期限切れ農薬等は、廃棄物処理業者への委託等により、適切に処理し、不適切な焼却は行わない。	
異品種混入の回避	10	種子を更新し、異品種の混入を回避する。		エネルギーの節減	39	エンジンオイルやベルト、チェーン、タイヤの空気圧等農業機械の定期的な点検や整備を実施する。	
農産物の衛生的な取扱	11	作業(収穫・乾燥・調製)しながら喫煙や飲食をしない。(休憩時間に喫煙、飲食をする等)			40	農業機械は、必要以上に高いエンジン回転で作業せず、負荷の状態に合った適正なエンジン回転で作業する。	
	12	作業(収穫・乾燥・調製)時に機械のネジや金属片、裝飾品等が混入しないよう対策を実施する。			41	中干しを適期(茎数が目標穂数の8割になった時)に実施する(期間は7～10日間)。	
	13	出穂前後各3週間の湛水管理と土づくり資材の施用等のカドミウム吸収抑制対策を実施する。		42	県が推進する環境こだわり農業に取り組み等、環境と調和のとれた農業を実践する。		
農産物の品質向上	14	適期を逃さずに刈り取る。		総合的な鳥獣被害対策	43	放任果樹の除去や柵の設置等、鳥獣を引き寄せない取組を行う。	
農産物の品質向上	15	収穫後の籾(もしくは粒)を長時間放置せず、速やかに通風乾燥するか、乾燥施設に搬入する。		琵琶湖等への環境保全意識の高揚	44	体調が悪い時や酒気を帯びている時は、農作業に従事しない。	
	16	乾燥・調製作業の開始前に、各設備の整備・点検を行う。			45	農薬散布、機械作業、施設の補修等、安全に作業を行うための適切な服装やマスク等の保護具を着用する。	
	17	乾燥・調製作業は、適正な温度管理、水分管理のもと行う。			46	農薬散布で着用した保護具は、洗浄し、他のものとは別に保管する。	
農産物の品質向上	18	倒伏や病害虫による被害籾、高水分籾(もしくは被害粒、高水分粒)は仕分けして、乾燥・調製等作業を行う。		安全な作業環境の確保	47	農作業事故につながる恐れのある危険な箇所を把握し、危険箇所の表示やほ場の出入口の傾斜を緩くする等、作業環境を改善する。	
	19	種子袋や育苗箱に品種名を明記し、品種の切り替えは、取り違い・他品種の種子が混入しないようにする。			48	農業機械、器具の始業前点検や使用後の整備等、取扱説明書に基づき、適切な保守点検の実施に努める。	
	20	田植えにおける品種の切り替えは、取り違いがないよう苗箱の品種を確認する。			49	農業機械の機能、使用上の注意事項、使用時の危険回避方法等、取扱説明書をよく理解した上で操作する。	
農薬による環境負荷の低減	21	作業(収穫・乾燥・調製)時における品種や作物の切り替えは、事前にコンバイン・乾燥機等の清掃を徹底する。		農作業事故に対する備え	50	農業生産活動の維持・持続に向けた保険に加入する。	
	22	散布面積や作物の生育状況、ラベルの記載内容を確認し、散布に必要な量だけを調製する。			51	特許技術は、適切な手続きを経て活用する。	
	23	農薬散布後1週間は落水、かけ流しをしない。			52	登録品種の種苗は、適切な手続きを経て利用する。	
農薬による環境負荷の低減	24	斑点米カラムシ類対策として、出穂2～3週間前と出穂期に畦畔除草を行う。		情報の記録・保管	53	ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存する。	
	25	病害虫の発生源となる雑草や補種用余剰苗を除去する。			54	農薬、肥料の使用状況や播種、定植、収穫の作業実施日等、農業生産活動に関する情報を記録し、保存する。	
	26	抵抗性品種や輪作体系等を導入する。			55	農薬や肥料、種子、苗等の購入伝票、保証書を保存する。	
農産物の品質向上	27	発生予防情報やほ場、その周辺における病害虫の発生状況を確認した上で防除する。		特定の米穀についての保管・処理	56	品名や出荷日、出荷量等、取引に関する内容を記録し、保存する(保存3年)	
	28	温湯消毒、生物農薬の使用等、化学合成農薬を使わない防除を実施する。			57	加工用米や新規需要米等は、明確に区分管理する。	
	29	農薬を散布する前に、近隣農家・住民に周知する。			58	販売時は、包装等に用途を表示したり、定められた用途に使用されるよう契約書に記載する等の転用防止対策を実施する。	
					59	かびの付着や残留農薬等基準値を超過した米は、明確に区分管理し、廃棄等により、適切に処置する。	

# 令和5年産米の栽培記録

●栽培管理日誌の控えとしてお使い下さい●



品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥 1 回目	穂肥 2 回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍× 時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥 1 回目	穂肥 2 回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍× 時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥 1 回目	穂肥 2 回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍× 時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥 1 回目	穂肥 2 回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍× 時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥 1 回目	穂肥 2 回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍× 時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	

\*データ (Excel) が必要な方は、JA グリーン近江ホームページ内 (<https://www.jagreenohmi.jas.or.jp/>) にアップしていますので、ご利用ください。

凡例

	細粒	中粗粒	れき質
遅田	赤	青	黄
半遅田	緑	紫	茶
乾田	赤	黄	茶
クロボク 遅田(スクモ)	茶	黄	茶

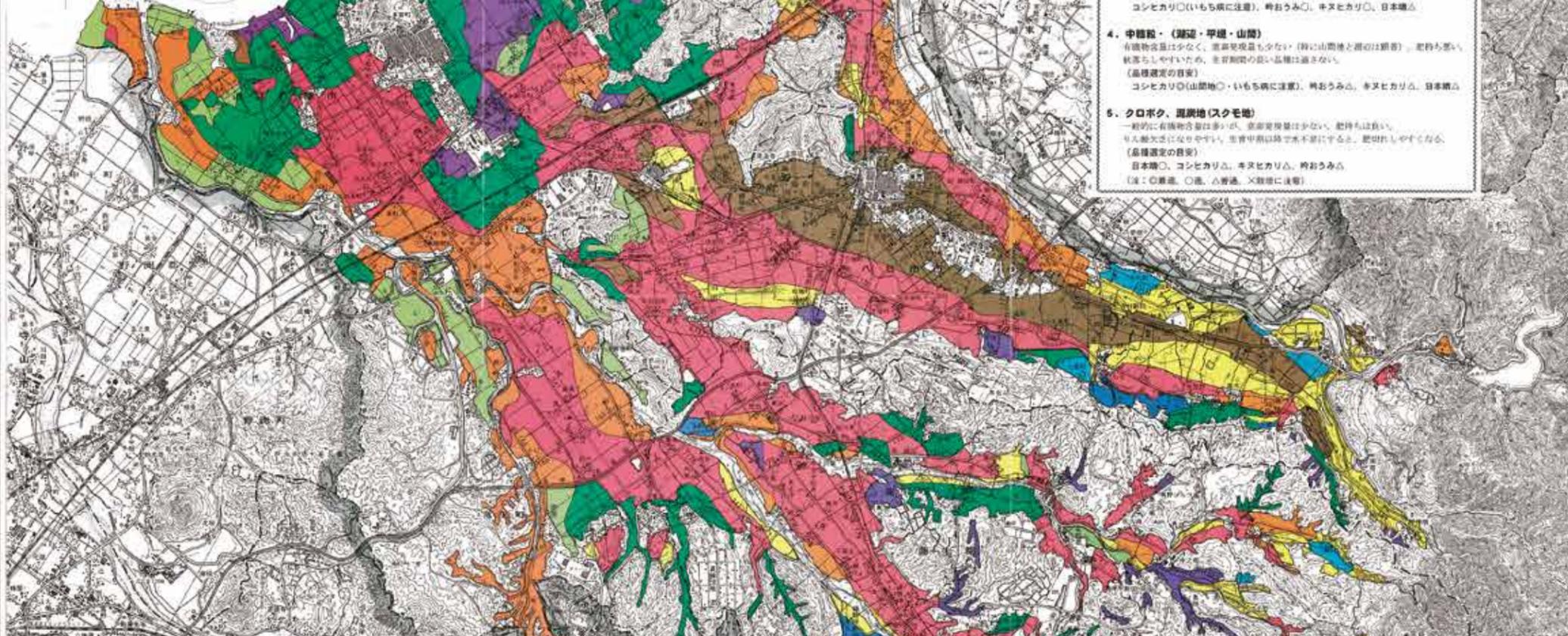
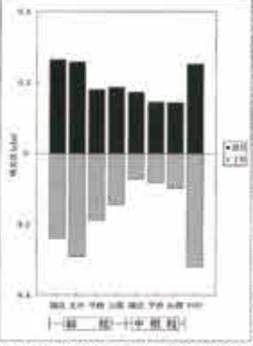


表1 地帯・土壌区別調査分析のまとめ

土壌区別	調査年度	遅田・半遅田		乾田		平均
		pH	有機質	pH	有機質	
遅田	昭和57	6.26	0.23	6.6	0.18	大
半遅田	昭和57	6.20	0.20	6.2	0.18	大
乾田	昭和57	6.10	0.16	6.0	0.17	中
中粗粒	昭和57	6.17	0.07	1.2	0.12	小
クロボク	昭和57	6.14	0.00	1.1	0.10	小
クロボク	昭和57	6.15	0.02	0.1	0.08	小

図1 地帯別・土壌区別地力調査



注：●1地帯区分(河川)概ね前大津地区より河川より見越す  
 (山間)概ね前大津地区より山間  
 [半間]その間の地帯  
 ●スクモでは実際の地力に比べて有機質及びpHが調査結果より大きくなる。

# 東近江の水田土壌マップ

## 【土壌特性と品種選定】

おいしいお米をつくるためには土壌に応じた肥培管理や品種の選定が重要です。測定～山間部にかけての水田土壌マップと地力調査の結果をまとめたので、地帯・土壌区別の肥培管理の参考として良食米・良品米生産にお役立て下さい。

- 1. 細粒・遅田(大中)**  
土質は肥沃で、肥持力が高い。特に、生育前半に窒素吸収が多い。富栄養に敏感な。肥料や水は少なめに、収量と品質を両立させる。 (品種選定の目安) 日本晴○、時おろみ○、ネズミカカリ○、コシヒカリ△×
- 2. 細粒・半遅**  
地方変種は山間部より多いが、肥持力は高い。 (品種選定の目安) 日本晴○、時おろみ○、ネズミカカリ○、コシヒカリ△
- 3. 細粒・山間**  
有機物含有量は少なく、一般に肥培管理が難しい。 (品種選定の目安) コシヒカリ○(いもち病に注意)、時おろみ○、ネズミカカリ○、日本晴△
- 4. 中粗粒(遅田・半遅・山間)**  
有機物含有量は少なく、富栄養現象も少ない(特に山間部と遅田)。肥料は少なめに、生育後半の肥料は少なめに。 (品種選定の目安) コシヒカリ○(山間部)・いもち病に注意、時おろみ○、ネズミカカリ△、日本晴△
- 5. クロボク、遅田(スクモ)**  
一般的に有機物含有量は多いが、富栄養現象は少ない。肥料は少なめに、生育前半は減らす。 (品種選定の目安) 日本晴○、コシヒカリ△、ネズミカカリ△、時おろみ○ (注：○は普通、△は普通、×は注意)

表2 地帯・土壌区別調査分析数値

地帯	土壌区別	調査年度		調査年度		平均
		昭和57	昭和58	昭和57	昭和58	
遅田	遅田	6.26	6.20	0.23	0.20	6.23
	半遅田	6.20	6.10	0.20	0.16	6.15
	乾田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.26	6.20	0.23	0.20	6.23
	半遅田	6.20	6.10	0.20	0.16	6.15
半遅田	遅田	6.20	6.10	0.20	0.16	6.15
	半遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	乾田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.20	6.10	0.20	0.16	6.15
	半遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
乾田	遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	半遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	乾田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	半遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
中粗粒	遅田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	半遅田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	乾田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	半遅田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
クロボク	遅田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	半遅田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	乾田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	半遅田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07

表3 地帯・土壌区別調査分析数値

地帯	土壌区別	調査年度		調査年度		平均
		昭和57	昭和58	昭和57	昭和58	
遅田	遅田	6.26	6.20	0.23	0.20	6.23
	半遅田	6.20	6.10	0.20	0.16	6.15
	乾田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.26	6.20	0.23	0.20	6.23
	半遅田	6.20	6.10	0.20	0.16	6.15
半遅田	遅田	6.20	6.10	0.20	0.16	6.15
	半遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	乾田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.20	6.10	0.20	0.16	6.15
	半遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
乾田	遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	半遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	乾田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
	半遅田	6.10	6.00	0.16	0.17	6.05
中粗粒	遅田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	半遅田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	乾田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	半遅田	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
クロボク	遅田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	半遅田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	乾田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	中粗粒	6.17	6.07	0.07	0.12	6.12
	クロボク	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	スクモ	6.15	6.02	0.02	0.08	6.08
	山間	6.10	6.00	0.10	0.10	6.05
	半間	6.15	6.05	0.15	0.15	6.10
	遅田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07
	半遅田	6.14	6.00	0.00	0.10	6.07

東近江の水田土壌マップ  
 作成 平成10年9月  
 調査東近江産管センター  
 〒527-0023  
 八日市市 藤野 2-1-1  
 TEL (0748) 23-0553  
 FAX (0748) 25-1531  
 調査東近江産管センター  
 〒527-0023  
 八日市市 藤野 2-2-3  
 TEL (0748) 23-7727  
 FAX (0748) 23-6441  
 西郷支所  
 〒523-0931  
 近江八幡市 坂本 2-8-3  
 TEL (0748) 33-2750  
 FAX (0748) 32-6446  
 協力：滋賀県産管センター  
 グリーン・エコ推進協議会  
 滋賀県産管センター  
 滋賀県産管協議会

※1 調査年度は昭和57年・昭和58年  
 ※2 調査年度は昭和57年・昭和58年  
 ※3 調査年度は昭和57年・昭和58年  
 ※4 調査年度は昭和57年・昭和58年

# (株) グリーンサポート楽農 作業紹介

令和2年7月より改定

## 反転プラウ



プラウによる深耕は作物栽培における土作りに有効で、定期的に行うことで土の活力を高める効果が期待できます。

### 作業可能時期

4月～8月中旬  
10月下旬～3月下旬

単位	料金(円) 税別	
	1区画 30a以上	1区画 30a未満
10a	4,500	6,500

## サブソイラー



水田にサブソイラーによる弾丸暗渠を施工すると排水性が高まります。50a未満は要相談

### 作業可能時期

4月～8月中旬  
10月下旬～3月下旬

単位	料金(円) 税別	
	1区画 30a以上	
10a	3,000	

## ロータリー耕耘



各種作物におけるロータリー作業により畑作物等の下処理を行い水稲、麦、大豆、野菜等の生産を支援いたします。

### 作業可能時期

4月～8月中旬  
10月下旬～3月下旬

単位	料金(円) 税別	
	1区画 30a以上	1区画 30a未満
10a/耕耘1回	7,400	10,500
10a/耕耘2回	10,000	15,000

## 堆肥散布



堆肥散布による、土づくりを支援！  
しっかりとした土づくりを継続的に行うことが慣用です。  
※50a以上まとまりで受注

### 作業可能時期

4月～8月中旬  
10月下旬～  
3月下旬

単位	料金(円) 税別	
	1区画 100a以上	1区画 100a未満
10a/約3t	1tごとに+1,500	
10a/約2t	7,000	9,000
10a/約1t	6,500	8,500
	1t	
堆肥運搬	1,000	当社取り扱い堆肥のみ堆肥運搬は2t以上対応

## 麦・水稲収穫



### 作業可能時期

6月中旬～10月下旬

単位/麦	料金(円) 税別
概ね1ha以上のまとまり/10a	10,500
10a	13,500
単位/水稲	料金(円) 税別
概ね1ha以上のまとまり/10a	12,000
10a	15,000

## 田植作業



田植え、施肥、除草剤、防除剤同時作業で水稲作の取り組み支援を行います。

### 作業可能時期

4月～6月上旬

単位	料金(円) 税別	
	1区画 10a以上	悪条件
農家出役あり/10a	7,500	18,000
農家出役なし/10a	15,000	25,500



## ドローン航空防除作業

対象作物	散布量/単位	料金(円) 税別 1受託作業10ha以上	料金(円) 税別 1受託作業10ha未満	備考
田・畑	0.8L以下/10a	1,500	1,600	3ha未満の作業は要相談。依頼主の作業立会必須(2名以上)
	1.6L以下/10a	2,500		依頼主の作業立会必須 1ha未満の作業は要相談
	1.7L以上/10a	3,500		依頼主の作業立会必須 1ha未満の作業は要相談

○30a以下の作業につきましては、営農振興課までご相談下さい。  
○料金は税抜単価です。



**お問い合わせ・ご相談は**

部 署	TEL	FAX
<b>近 江 八 幡</b>		
近江八幡営農振興センター	33-6705	33-6715
ジェネット八幡	33-6300	33-6307
大中の湖営農振興センター	46-3100	46-3168
ジェネット大中の湖	46-8003	46-3315
<b>東 近 江</b>		
東近江中央営農振興センター	22-6620	22-6622
ジェネット東近江		
東近江湖辺営農振興センター	42-2133	42-8155
<b>日 野</b>		
日野営農振興センター	52-2212	53-0987
ジェネット日野		
<b>竜 王</b>		
竜王営農振興センター	58-3767	58-2705
ジェネット竜王		

**八幡駅前事業所**

経済事業部	経 済 課	33-8427
営農事業部	営 農 振 興 課	33-8453
	農産販売促進課	33-8452
	施設管理課	33-8458
	特 産 課	33-8454
	きてか～な	32-0111